

HP Configuration Management

Configuration Server

AIX、Enterprise Linux ES、AS、HP-UX、Solaris、SuSE Linux Enterprise Server、および Windows® オペレーティング システム用

Portal および Enterprise Manager

Windows オペレーティング システム用

バージョン : 5.10

入門ガイド

製造パート番号 : T3424-99002

ドキュメントのリリース日 : 2008 年 2 月

ソフトウェアのリリース日 : 2008 年 2 月



i n v e n t

ご注意

保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピュータ・ソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータ・ソフトウェア、コンピュータ・ソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、**FAR12.211** および **12.212** の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2007 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標

Linux は、Linus Torvalds の登録商標です。

Microsoft®、Windows®、および Windows® XP は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

OpenLDAP は、OpenLDAP Foundation の登録商標です。

PREBOOT EXECUTION ENVIRONMENT (PXE) SERVER
Copyright © 1996-1999 Intel Corporation.

TFTP SERVER
Copyright © 1983, 1993
The Regents of the University of California.

OpenLDAP
Copyright 1999-2001 The OpenLDAP Foundation, Redwood City, California, USA.
Portions Copyright © 1992-1996 Regents of the University of Michigan.

OpenSSL License
Copyright © 1998-2001 The OpenSSLProject.

Original SSLeay License
Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

DHTML Calendar
Copyright Mihai Bazon, 2002, 2003

ドキュメントの更新

このドキュメントのタイトル ページには、次の識別情報が含まれています。

- ソフトウェアのバージョン番号。ソフトウェアのバージョンを示します。
 - ピリオドの前の番号は、メジャー リリース番号を示します。
 - ピリオドの後の最初の番号は、マイナー リリース番号を示します。
 - ピリオドの後の 2 番目の番号は、マイナー マイナー リリース番号を示します。
- ドキュメントのリリース日。ドキュメントが更新されるごとに変ります。
- ソフトウェアのリリース日。ソフトウェアのこのバージョンのリリース日を示します。

最近の更新がないか確認したり、最新版を使用していることを確認したりするには、次の URL に移動してください。

ovweb.external.hp.com/lpe/doc_serv/

適切な製品サポート サービスを購読している場合にも、最新版や新版を受け取ることができます。詳細は、HP 営業担当者までお問い合わせください。

4 ページの表 1 は、今回および前回までのリリースでこのドキュメントに追加された変更を示します。

表 1 ドキュメントの変更点

章	バージョン	変更点
全体	5.10	『HP Configuration Management Administrator Publisher Guide』および『HP Configuration Management Administrator Configuration Server Database Editor Guide』が新しいガイドの『HP Configuration Management Administrator User Guide (CM Admin Guide)』に統合されました。
全体	5.10	『HP Configuration Management Application Manager インストールおよび設定ガイド』および『HP Configuration Management Application Self-service Manager インストールおよび設定ガイド』が、各プラットフォーム (UNIX および Windows) 用に 1 つのガイドに統合されました。 統合されたガイドは、『HP Configuration Management Application Manager and Application Self-service Manager インストールおよび設定ガイド (CM Application Manager and Application Self-service Manager ガイド)』です。

章	バージョン	変更点
第 1 章	5.10	18 ページ：表 5 の「 Configuration Management ライブラリ 」が更新されました。一部ガイドのタイトルが変更され、廃止されたガイドへの参照が削除されました。
第 1 章	5.10	23 ページ： CM Portal または CM Enterprise Manager のいずれかによって実行される Configuration Management 管理タスクに関する注意が追加されました。
第 1 章	5.10	24 ページ： CM Portal または CM Enterprise Manager のいずれかによって実行される Configuration Management 管理タスクに関する注意が追加されました。
第 1 章	5.10	30 ページ： CM Configuration Baseline Auditor に言及する箇所がすべて削除されました。この製品は廃止されています。
第 1 章	5.10	33 ページ：新しいセクション「 CM Portal および CM Enterprise Manager のタスク 」が追加されました。ここでは、 CM 管理者を対象に、様々な CM タスクを完了するために CM Portal と CM Enterprise Manager のどちらを使用すればよいか説明しています。
第 2 章	5.10	35 ページ：この章（「 UNIX 用の CM Configuration Server インストール 」）のタイトルが「 UNIX でのインストール 」から変更されました。
第 3 章	5.10	53 ページ：この章から、 CM Portal 用のインストール素材が削除され、 CM Configuration Server のインストールのみを扱うようになりました。 CM Portal のインストールは、独立した章「 Windows 用の CM Portal インストール 」に移されました。
第 4 章	5.10	71 ページ： CM Portal のインストールについて、この章「 Windows 用の CM Portal インストール 」で詳しく説明しています。
第 5 章	5.10	85 ページ： CM Enterprise Manager のインストールについて、この章「 Windows 用の CM Enterprise Manager インストール 」で詳しく説明しています。
全体	5.00	不要なスクリーンショットを削除し、関連するテキストを変更しました。

章	バージョン	変更点
全体	5.00	<p>全ディレクトリパスの変更。CM製品のデフォルトのディレクトリパスが以下のように変更されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Program Files¥Hewlett-Packard¥CM (Windows) <p>および</p> <ul style="list-style-type: none"> • HP/CM (UNIX)
第1章	5.00	<p>本リリースでは、1つのバージョンの HP Configuration Management Distributed Configuration Server (CM Distributed Configuration Server) が提供されています。この製品のメディアへの参照がいくつか削除されました。</p>
第1章	5.00	<p>16 ページの表 4 : HP メディアのディレクトリ構造が更新されました。</p>
第1章	5.00	<p>16 ページの「インストールメディア」：このリリースでサポートされない以下の製品の参照が削除されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HP Configuration Management Adapter for SSL (CM Adapter for SSL) • HP Configuration Management Staging Server (CM Staging Server) • HP Configuration Management Adapter (CM Adapter) • HP Configuration Management Operations Adapter (CM Operations Adapter) <p>また、このリリースでは Mac OS X 版の HP Configuration Management 製品をサポートしません。</p>
第1章	5.00	<p>23 ページ：新しい CM 製品である CM Enterprise Manager の情報が追加されました。</p>
第2章	5.00	<p>HP Configuration Management Portal を UNIX オペレーティングシステムにインストールする件に関する参照と情報が削除されました。本リリースではこのインストールは利用できないためです。</p>
第2章	5.00	<p>40 ページの「UNIX インストール前の注意」セクション：UNIX arp ユーティリティに関する情報が追加されています。</p>

サポート

HP Software のサポート Web サイトは次のとおりです。

www.hp.com/go/hpsoftwaresupport

この Web サイトには、HP Software の製品、サービス、サポートに関するお問い合わせ先情報が掲載されています。

HP Software のオンライン ソフトウェア サポートでは、お客様自身が問題を解決するための情報を提供します。ビジネスを管理するために必要な対話型技術サポート ツールに、素早く効率的にアクセスする方法を提供しています。サポートを受けるお客様は、サポート サイトを使って以下のことができます。

- 関心がある知識ドキュメントの検索
- オンラインでの機能拡張リクエストの申し込み
- ソフトウェア パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポートの問い合わせ先の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の確認
- 他のソフトウェア顧客とのディスカッションへの参加
- ソフトウェア トレーニングの検索と申し込み

多くのサポート エリアは、HP Passport のユーザー登録とサインインを必要とします。有効なサポート契約が必要なエリアもあります。サポートのアクセス レベルに関する詳細については、次の URL に移動してください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Passport ID を登録するには、次の URL に移動してください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

目次

1 はじめに	13
Configuration Management について	14
このガイドの概要	14
ドキュメント マップ	14
Configuration Management サポート ドキュメント	15
インストール メディア	16
Configuration Management ドキュメント メディア	18
Configuration Management Configuration Server メディア	20
CM Configuration Server	20
CM Administrator	21
CM Extensions for Windows Installer	22
CM Distributed Configuration Server	23
CM Enterprise Manager Media	23
CM Enterprise Manager	23
CM Infrastructure メディア	24
CM Policy Server	24
CM Batch Publisher	25
CM Portal	25
CM Multicast Server	25
CM Proxy Server	26
CM Configuration Analyzer	26
CM Knowledge Base Server	26
CM Reporting Server	26
CM Messaging Server	27
CM Agents Media	27
CM Application Manager	28
CM Application Self-service Manager	28
CM Inventory Manager	28
CM Patch Manager Media	28
CM Patch Manager	29
CM OS Manager Media	29
CM OS Manager	29

CM Server Management メディア	30
CM Application Management Profiles	30
CM Windows Terminal Server	30
CM Usage Manager Media	31
CM Application Usage Manager.....	31
CM 実装の概要	31
CM Portal および CM Enterprise Manager のタスク	33
まとめ.....	34

2 UNIX 用の CM Configuration Server インストール 35

この章の概要.....	36
システム要件.....	36
プラットフォームのサポート	36
CM Configuration Server のインストール.....	36
インストールのタイプ.....	36
CM Configuration Server のディレクトリ	37
UNIX 用のシステム推奨.....	38
UNIX インストール前のチェックリスト	39
UNIX インストール前のヒント.....	39
UNIX インストール前の注意.....	40
すべての UNIX プラットフォーム.....	40
HP-UX の注意	40
Linux に関する注意.....	41
UNIX 環境変数.....	42
設定ファイル.....	43
CM Configuration Server をインストールする	44
サイレント インストール.....	44
GUI インストール	45
UNIX インストール後の注意.....	50
CM Configuration Server の起動、停止、特定、およびクリーンアップ	51

3 Windows 用の CM Configuration Server インストール	53
システム要件.....	54
プラットフォームのサポート	54
CM Configuration Server のインストール.....	54
インストールのタイプ.....	54
CM Configuration Server のディレクトリ	55
Windows 用システム推奨	56
Windows インストール前のチェックリスト.....	56
Windows インストール前のヒント	57
CM Configuration Server をインストールする	59
サイレント インストール.....	59
GUI インストール	60
Windows サービスとしての CM Configuration Server.....	67
Windows サービス オプション	67
CM Configuration Server で Windows イベント ビューアを使用する	68
イベント ビューアにアクセスする.....	68
CM Configuration Server メッセージをフィルタする	69
イベント ビューアの CM Configuration Server メッセージ.....	69
4 Windows 用の CM Portal インストール	71
システム要件.....	72
インストール前のチェックリスト.....	72
インストール前のヒント	73
インストール前の注意.....	73
サーバーの注意	73
CM Agent に関する注意およびアクセス要件	73
シングルゾーンのディレクトリ サイズ.....	74
CM Portal および CM Messaging Server.....	74
CM Portal をインストールする	74
CM Portal を起動/停止する	81
CM Portal へのアクセスとログオン.....	81
まとめ.....	83

5 Windows 用の CM Enterprise Manager インストール	85
システム要件.....	86
プラットフォームのサポート	86
インストール タスク	87
A UNIX カーネルのチューニング	89
主要なカーネル変数.....	89
B 製品名の変更	93
索引.....	95

1 はじめに

この章は以下を目的としています。

- Configuration Management (CM) 製品スイートを理解する。
- 各 CM コンポーネントのインストール ファイルがどの CM メディアに格納されているかを理解する。
- 各種 CM コンポーネントの機能について理解を深める。

Configuration Management について

Configuration Management (CM) は、インターネット通信やイントラネット通信を介してソフトウェアパッケージの配布を管理します。CM 管理者はソフトウェアのパッケージをパブリッシュし、必要なパッケージをユーザーに割り当てます。

このガイドの概要

『HP Configuration Management Configuration Server、Portal、および Enterprise Manager 入門ガイド (CM 入門ガイド)』は CM 管理者を対象に、以下の情報を提供します。

- CM インストール メディアの構成
- すべての CM コンポーネントの論理的なグループと機能

このガイドでは、基本的な CM インフラストラクチャ製品のインストールについても説明します。

- HP Configuration Management Configuration Server (CM Configuration Server)
- HP Configuration Management Portal (CM Portal)
- HP Configuration Management Enterprise Manager (CM Enterprise Manager)

CM 管理者は、これらのインストールを使用して、Configuration Management 環境を素早くセットアップし、使用を開始することができます。また、CM マニュアル ライブラリをインストールし、製品ライセンスに従って、その他の CM のインストール時に参照することができます。



CM 製品スイートのその他のコンポーネントについて詳しくは、この章で後ほど説明するガイドを参照してください。

ドキュメント マップ

このセクションでは本書の構成を説明し、CM Configuration Server および CM Portal に関する特定の情報がどこにあるのか理解できるようにします。

表 2 ドキュメント マップ

章	内容
第 1 章： はじめに	CM インストール メディアの概要や各種 CM コンポーネントの概要など、本ガイドの内容。
第 2 章： UNIX 用の CM Configuration Server インストール	UNIX 環境での CM Configuration Server のインストール。
第 3 章： Windows 用の CM Configuration Server インストール	Windows 環境での CM Configuration Server のインストール。
第 4 章： Windows 用の CM Portal インストール	Windows 環境での CM Portal のインストール。
第 5 章： Windows 用の CM Enterprise Manager インストール	Windows 環境での CM Enterprise Manager のインストール。
付録 A： UNIX カーネルのチューニング	CM Configuration Server に関する UNIX カーネルリソースの許容範囲。例：異なる UNIX オペレーティングシステムのパラメータ、および並列タスクやキャッシュ管理に基づく CM Configuration Server 設定。

Configuration Management サポート ドキュメント

このセクションでは、CM Configuration Server、CM Portal、および CM Enterprise Manager に関する Configuration Management マニュアルのリストを示します。

表 3 CM サポート ドキュメント

製品	マニュアル
CM Configuration Server	<i>HP Configuration Management Configuration Server User Guide</i>
	<i>HP Configuration Management Configuration Server Messages Guide</i>
	<i>HP Configuration Management Configuration Server Database Reference Guide</i>
	<i>HP Configuration Management REXX Programming Guide</i>
CM Portal	<i>HP Configuration Management Portal Installation and Configuration Guide</i>
CM Enterprise Manager	<i>HP Configuration Management Enterprise Manager User Guide</i>

CM ライブラリの全マニュアルの詳細なリストは、18 ページの表 5 を参照してください。

インストール メディア

CM インストール メディアは製品タイプごとに構成されており、CM インフラストラクチャのセットアップに必要なすべての製品が格納されています。

CM 製品のインストールはメディアの以下のディレクトリに含まれています。

表 4 CM メディア ディレクトリの内容

ディレクトリ	内容
Agents	HP Configuration Management エージェント用のインストール素材。 27 ページの「 CM Agents Media 」を参照してください。
Configuration Server	拡張インフラストラクチャや管理インフラストラクチャ製品の一部と、HP Configuration Management Configuration Server 用のインストール素材。 20 ページの「 Configuration Management Configuration Server メディア 」を参照してください。

ディレクトリ	内容
Documentation	HP CM ライブラリ。 18 ページの「 Configuration Management ドキュメントメディア 」を参照してください。
Enterprise Manager	HP Configuration Management Enterprise Manager 用のインストール素材。 23 ページの「 CM Enterprise Manager Media 」を参照してください。
Infrastructure	拡張インフラストラクチャおよび管理拡張製品の一部と、 HP Configuration Management インフラストラクチャ用のインストール素材。 24 ページの「 CM Infrastructure メディア 」を参照してください。
OS Manager	HP Configuration Management OS Manager 用のインストール素材。 29 ページの「 CM OS Manager Media 」を参照してください。 注意： CM OS Manager のインストールメディアは独立した CD に移動されています。
Patch Manager	HP Configuration Management Patch Manager 用のインストール素材。 28 ページの「 CM Patch Manager Media 」を参照してください。
Server Mgmt	HP Configuration Management Server Management 製品用のインストール素材。 30 ページの「 CM Server Management メディア 」を参照してください。
Usage Manager	HP Configuration Management Application Usage Manager 用のインストール素材。 31 ページの「 CM Usage Manager Media 」を参照してください。
AUTORUN.INF	CM ライブラリ用自動起動ファイル。
CM_5.10_RN.pdf	本リリースのリリース ノート ドキュメント。



CM 製品をインストールする前に、その製品の新しいリリース情報がないか HP の Web サイトを確認してください。

また、メディアに含まれる readme ファイル、移行ガイド、およびリリースノートもすべて確認してください。重要な製品情報が含まれている場合があります。

インストールメディアには、お客様がまだライセンスを取得していない製品が含まれている場合があります。ライセンスを取得している製品のみをインストールしてください。

Configuration Management ドキュメント メディア

CM メディアの Documentation ディレクトリには、CM ドキュメントのリストが PDF 形式で格納されています。

18 ページの表 5 は、CM の Documentation ディレクトリに格納されている本リリースのマニュアルをアルファベット順に並べたリストです。

表 5 Configuration Management ライブラリ

HP Configuration Management Administrator User Guide

HP Configuration Management Application Management Profiles User Guide

HP Configuration Management Application Manager and Application Self-service Manager Installation and Configuration Guide for UNIX

HP Configuration Management Application Manager and Application Self-service Manager Installation and Configuration Guide for Windows

HP Configuration Management Application Usage Manager User Guide

HP Configuration Management Batch Publisher Installation and Configuration Guide

HP Configuration Management Configuration Analyzer Installation and Configuration Guide

HP Configuration Management Configuration Server, Portal, and Enterprise Manager Getting Started Guide

HP Configuration Management Configuration Server Database Reference Guide

HP Configuration Management Configuration Server Messages Guide

HP Configuration Management Configuration Server User Guide

HP Configuration Management Distributed Configuration Server Installation and Configuration Guide

HP Configuration Management Enterprise Manager User Guide

HP Configuration Management Extensions for Windows Installer Getting Started Guide

HP Configuration Management Extensions for Windows Installer User Guide

HP Configuration Management OS Manager Hardware Configuration Management Guide

HP Configuration Management Inventory Manager Installation and Configuration Guide for UNIX

HP Configuration Management Inventory Manager Installation and Configuration Guide for Windows

HP Configuration Management Knowledge Base Server Installation and Configuration Guide

HP Configuration Management Management Applications Messages and Codes Guide

HP Configuration Management Messaging Server Installation and Configuration Guide

HP Configuration Management Multicast Server Installation and Configuration Guide

HP Configuration Management OS Manager Installation and Configuration Guide for UNIX

HP Configuration Management OS Manager Installation and Configuration Guide for Windows

HP Configuration Management Patch Manager Installation and Configuration Guide

HP Configuration Management Policy Server Installation and Configuration Guide

HP Configuration Management Portal Installation and Configuration Guide

HP Configuration Management Proxy Server Installation and Configuration Guide

HP Configuration Management Reporting Server Installation and Configuration Guide

HP Configuration Management REXX Programming Guide

HP Configuration Management Service Desk Integration Guide

HP Configuration Management Server Management Windows Terminal Server and Citrix Support Guide

HP Configuration Management SSL Implementation Guide

CM 管理者はこれらのマニュアルを参照して、企業の全コンピュータの管理に必要なデータを準備することができます。

HP のドキュメント Web サイト (http://ovweb.external.hp.com/lpe/doc_serv/) を定期的にチェックし、新しいマニュアルや更新されたマニュアルがないか確認してください。追加の技術的サポート文書については、HP のサポート Web サイト (www.hp.com/go/hpsoftwaresupport) を参照してください。

Configuration Management Configuration Server メディア

このメディアには、20 ページの表 6 にリストされた CM コンポーネントのインストール ファイルが格納されています。

表 6 Configuration Server メディアの内容

ディレクトリ	CM コンポーネント
extended_infrastructure	CM Distributed Configuration Server
management_infrastructure	CM Administrator Workstation
	CM Configuration Server
	CM Extensions for Windows Installer

以下のセクションでは、これらのコンポーネントについてより詳しく説明します。

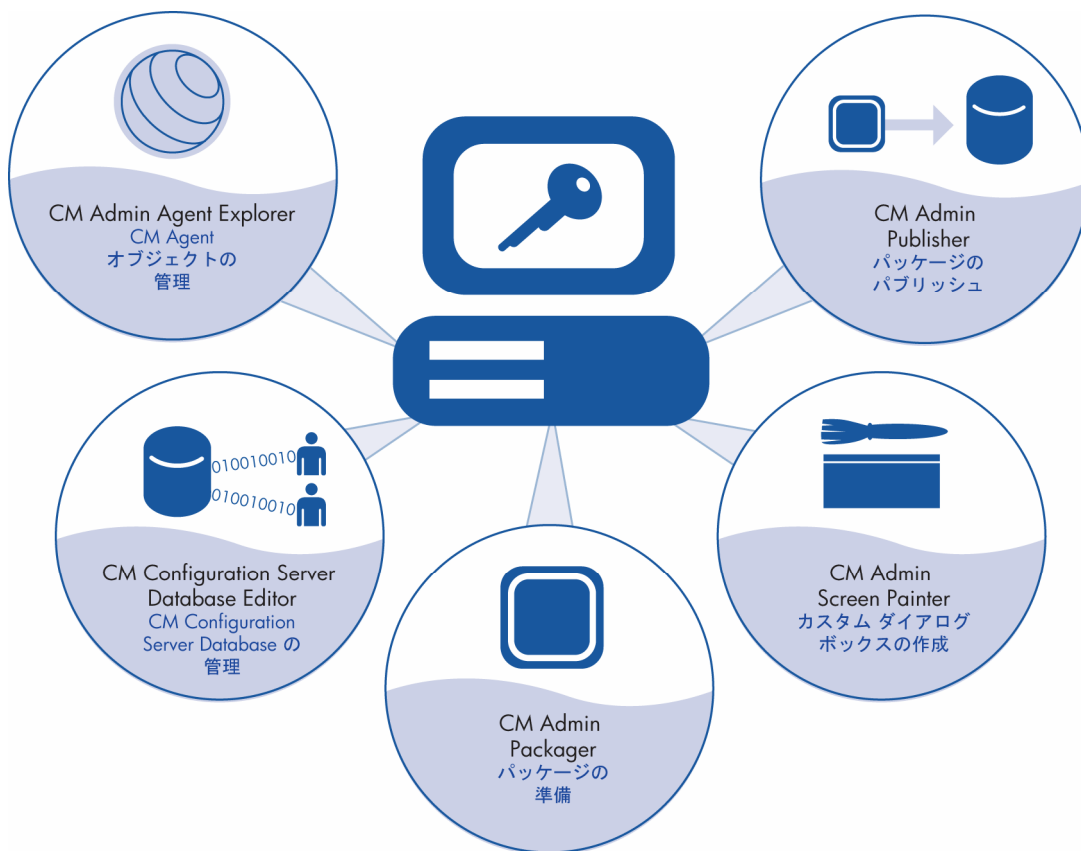
CM Configuration Server

HP Configuration Management Configuration Server (CM Configuration Server) は、単一のサーバー上にインストールすることも、あるいは複数のサーバーから成るネットワークに複数インストールすることもできます。サブスクライバ、および CM Agent コンピュータのアプリケーションと情報は、CM Configuration Server の HP Configuration Management Configuration Server Database (CM Configuration Server Database) に保存されます。CM Configuration Server は、CM 管理者が作成したポリシーに基づき、アプリケーションパッケージを配布します。詳細については、『HP Configuration Management Configuration Server User Guide』を参照してください。

CM Administrator

HP Configuration Management Administrator (CM Administrator) には、基本的な管理機能用のツールセットが格納されています (21 ページの [図 1](#) 参照)。これらのツールを使用して CM Configuration Server Database を管理したり、アプリケーションを準備したり、CM Agent オブジェクトを表示したり、コンピューティング環境をカスタマイズしたりします。

図 1 HP Configuration Management Administrator のツール



▶ HP Configuration Management Administrator (CM Administrator) のインストール方法の詳細については、『[CM Administrator User Guide \(CM Administrator Guide\)](#)』を参照してください。

CM Administrator には以下のツールが含まれています。

CM Administrator Packager (CM Admin Packager)

パッケージと呼ばれるコンポーネント グループの作成に使用します。詳細については、『**CM Application Manager and Application Self-service Manager Guide**』を参照してください。

CM Administrator Publisher (CM Admin Publisher)

CM Configuration Server にパッケージをパブリッシュするために使用します。詳細については、『**HP Configuration Management Administrator Guide**』を参照してください。

CM Administrator Configuration Server Database Editor (CM Admin Configuration Server Database Editor)

新規ユーザーや新規ユーザー グループを作成したり、ユーザーをグループに割り当てたり、ユーザーやグループをアプリケーション パッケージに割り当てたりするために使用します。『**HP Configuration Management 管理者ガイド**』を参照してください。

CM Administrator Agent Explorer (CM Admin Agent Explorer)

ローカル CM オブジェクトの操作に使用します。

CM Administrator Screen Painter (CM Admin Screen Painter)

カスタム ダイアログ ボックスの作成に使用します。

CM AMP Editor

アプリケーション パッケージの作成および変更のために使用します。

CM Extensions for Windows Installer

HP Configuration Management Extensions for Windows Installer (CM Extensions for Windows Installer) は、エンタープライズ アプリケーション統合のラボラトリ プロセスを自動化および簡素化する管理システムです。このツールを使用して、Windows インストーラ アプリケーションおよびインストーラ パッケージの構築、テスト、保守、配布、およびトラブルシューティングを行います。詳細については、『**HP Configuration Management Extensions for Windows Installer User Guide**』および『**HP Configuration Management Extensions for Windows Installer Getting Started Guide**』を参照してください。

CM Distributed Configuration Server

HP Configuration Management Distributed Configuration Server (CM Distributed Configuration Server) はデータベース複製ツールです。CM 管理者はこのツールを使用して、CM Configuration Server Database の内容を（一部または全部）別の場所にコピーしたり、データベースの変更を反映させるためにコピー元とコピー先を同期したりできます。詳細については、『HP Configuration Management Distributed Configuration Server Installation and Configuration Guide』を参照してください。

CM Enterprise Manager Media

このメディアには、23 ページの表 7 にリストされた CM コンポーネントのインストール ファイルが格納されています。

表 7 Enterprise Manager メディアの内容

カテゴリ	CM コンポーネント
なし	CM Enterprise Manager

以下のセクションでは、このコンポーネントについて説明します。

CM Enterprise Manager

HP Configuration Management Enterprise Manager (CM Enterprise Manager) は Web ベースのエージェント管理ツールです。CM 管理者はこれを使用して、Configuration Management 環境内のデバイスを対象に、ソフトウェア、パッチ、およびインベントリを簡単に管理できます。詳細については、『HP Configuration Management Enterprise Manager User Guide』を参照してください。

- ▶ CM Portal または CM Enterprise Manager を使用して、様々な Configuration Management 管理タスクを実行できます。
 - これらのタスクについては、33 ページの表 14 を参照してください。
 - 詳細については、『HP Configuration Management Enterprise Manager User Guide』および『HP Configuration Management Portal Installation and Configuration Guide』を参照してください。

CM Infrastructure メディア

このメディアには、24 ページの表 8 にリストされている CM コンポーネントのインストール ファイルが格納されています。

表 8 Infrastructure メディアの内容

ディレクトリ	CM コンポーネント
extended_infrastructure	CM Configuration Analyzer
	CM Knowledge Base Server
	CM Portal
	CM Messaging Server
	CM Multicast Server
	CM Proxy Server
	CM Reporting Server
management_extensions	CM Policy Server
	CM Publishing Adapter (CM Batch Publisher)
	CM Service Desk Adapter

これらのコンポーネントについては、以下のセクションで詳細に説明します。

CM Policy Server

HP Configuration Management Policy Server (CM Policy Server) は CM Integration Server へのプラグインです。ユーザーへのサービスのマッピングなどの管理タスクで使用できます。また、Active Directory や SQL ベース データベースといった LDAP ベースのディレクトリ サービスを活用するために使用することもできます。『HP Configuration Management Policy Server Installation and Configuration Guide』を参照してください。

CM Batch Publisher

HP Configuration Management Batch Publisher (CM Batch Publisher) は、CM Admin Publisher のコマンドライン駆動版です。繰り返し可能な自動プロセスを提供しますが、Publisher は起動から終了までモニターする必要があります。初期アプリケーションのパッケージ化ではなく、更新の配布を目的としています。CM Batch Publisher は、サードパーティ製の設定管理製品やパッケージング製品と簡単に統合できます。『HP Configuration Management Batch Publisher Installation and Configuration Guide』を参照してください。

CM Portal

HP Configuration Management Portal (CM Portal) は Web ベースのインターフェイスであり、Configuration Management 環境の管理に使用できます。CM インフラストラクチャのグラフィック表示を作成する機能など、役に立つ機能があります。『HP Configuration Management Portal Installation and Configuration Guide』を参照してください。

- ▶ CM Portal または CM Enterprise Manager のいずれかを使用して、様々な Configuration Management 管理タスクを実行できます。
 - これらのタスクについては、33 ページの表 14 を参照してください。
 - 詳細については、『HP Configuration Management Enterprise Manager User Guide』および『HP Configuration Management Portal Installation and Configuration Guide』を参照してください。

CM Multicast Server

HP Configuration Management Multicast Server (CM Multicast Server) は、送信数を削減し、ネットワーク帯域幅の使用率を最大限に高めることにより、データ送信を強化および簡素化します。CM 管理者はマルチキャストにより、複数の受信者に対して同じデータストリームを同時に送信できます。『HP Configuration Management Multicast Server Installation and Configuration Guide』を参照してください。

CM Proxy Server

HP Configuration Management Proxy Servers (CM Proxy Server) は、多数の CM Agent が同じロケーションにある同じリソースを要求している場合に役に立ちます。データを CM Proxy Server にキャッシュして、CM Configuration Server への要求を低減できます。それにより、より多くのリソースを別のタスクに割り当てることができます。CM Proxy Servers をネットワーク上の要点に配置することで、データ転送の速度が向上します。『HP Configuration Management Multicast Server Installation and Configuration Guide』を参照してください。

CM Configuration Analyzer

HP Configuration Management Configuration Analyzer (CM Configuration Analyzer) は、アプリケーションの管理を簡素化します。データベースによって裏付けされているため、インポートされたステート ファイルには、アプリケーションが必要とするすべてのリソースの詳細な履歴が格納されます。統合分析機能および管理分析機能を実行するため、CM 管理者はこれを参照して、アプリケーションのプロファイリング、アプリケーションの比較や分析を行うことができます。詳細については、『HP Configuration Management Configuration Analyzer Installation and Configuration Guide』を参照してください。

CM Knowledge Base Server

HP Configuration Management Knowledge Base Server (CM Knowledge Base Server) は、CM Configuration Analyzer と共に使用します。このツールは Knowledge Base に、ステート ファイル形式でデータを提供します。ステート ファイルは、アプリケーションの現在の状態を示すデータで構成されています。詳細については、『HP Configuration Management Distributed Configuration Server Installation and Configuration Guide』を参照してください。

CM Reporting Server

Web ベースの HP Configuration Management Reporting Server (CM Reporting Server) を使用すると、CM Inventory Manager、CM Patch Manager、および CM Usage Manager databases に対してデータのクエリを行ったり、詳細なレポートを作成したりすることができます。また、Configuration Management SQL データを使用してレポートと全体的な環境の評価を行う方法も提供します。詳細については、『HP Configuration Management Reporting Server Installation and Configuration Guide』を参照してください。

CM Messaging Server

HP Configuration Management Messaging Server (CM Messaging Server) は、複数の CM インフラストラクチャ コンポーネントと共に使用できる汎用メッセージ サービスです。事前定義されたデータ キューを継続的にモニタし、外部の送信先にデータをダイナミックにルーティングします。CM Messaging Server は CM Configuration Server 上で QMSG 実行可能ファイルと連携して動作し、CM Agent から取得したレポート データを外部の CM Integration Server へ転送します。転送されたデータは、適切なレポート データベースにマッピングできます。詳細については、『HP Configuration Management Messaging Server Installation and Configuration Guide』を参照してください。

CM Agents Media

このメディアには、27 ページの表 9 にリストされた CM コンポーネントのインストール ファイルが格納されています。



表 9 にリストされている（このセクションで詳しく説明する）管理アプリケーション製品は、CM Agent から構成されています。

表 9 Applications メディアの内容

カテゴリ	CM コンポーネント
管理アプリケーション	CM Application Manager Agent
	CM Application Self-service Manager Agent
	CM Inventory Manager Agent
	CM Patch Manager Agent
	CM OS Manager Agent
	CM Server Management Agent

以下のセクションでは、これらのコンポーネントについて説明します。

CM Application Manager

CM 管理者は HP Configuration Management Application Manager Agent (CM Application Manager) を使用して、企業全体に対する必須アプリケーションの配布と管理を制御できます。『HP Configuration Management Application Manager and Application Self-service Manager Installation and Configuration Guide』を参照してください。

CM Application Self-service Manager

エンドユーザーは HP Configuration Management Application Self-service Manager Agent (CM Application Self-service Manager) を使用して、サービスリスト内で提供されているオプション アプリケーションのインストール、削除、および更新を実行できます。『HP Configuration Management Application Manager and Application Self-service Manager Installation and Configuration Guide』を参照してください。

▶ CM Application Manager および CM Application Self-service Manager は 1 つのマシン上で共存できます。このような状況では、CM 管理者は次の事項を決定する必要があります。

- アプリケーションは必須かオプションか
- インストールを誰が制御するか

CM Inventory Manager

管理者は HP Configuration Management Inventory Manager Agent (CM Inventory Manager) を使用して、ハードウェア情報を収集し、CM Inventory Manager データベースに送信して、インベントリのレポートに使用できます。『HP Configuration Management Inventory Manager Installation and Configuration Guide』を参照してください。

CM Patch Manager Media

このメディアには、28 ページの表 10 にリストされた CM コンポーネントのインストール ファイルが格納されています。

表 10 Patch Manager メディアの内容

カテゴリ	CM コンポーネント
拡張インフラストラクチャ	CM Patch Manager (Server コンポーネント)

CM Patch Manager

HP Configuration Management Patch Manager (CM Patch Manager) は、ソフトウェア セキュリティの脆弱性を識別および管理し、管理対象デバイスを適切に設定するために、パッチ管理プロセス（パッチの取得、配布、管理を含む）を自動化します。管理者はこれを使用して、ベンダーが提供する Web ベースのセキュリティ パッチ リポジトリからセキュリティ パッチを収集するために取得設定を行ったり、影響を受けるアプリケーションやデバイスを特定するために影響分析やパイロット テストを実行することができます。詳細については、『HP Configuration Management Patch Manager Installation and Configuration Guide』を参照してください。

CM OS Manager Media

このメディアには、29 ページの表 11 にリストされた CM コンポーネントのインストール ファイルが格納されています。

表 11 OS Manager メディアの内容

カテゴリ	CM コンポーネント
拡張インフラストラクチャ	CM OS Patch Manager (CM OS Manager Server コンポーネント)

CM OS Manager

HP Configuration Management OS Manager (CM OS Manager) は、エージェント コンポーネントとサーバー コンポーネントから構成されています。管理者はこれを使用して、エージェント デバイスにオペレーティング システムを提供することができます。CM OS Manager はポリシーの割り当てに基づいてオペレーティング システムを配布することができ、一連の条件に基づいてオペレーティング システムを選択するメッセージをユーザーに表示できます。詳細については、『HP Configuration Management Operating System Manager Installation and Configuration Guide』を参照してください。

CM Server Management メディア

このメディアには、30 ページの表 12 にリストされた CM コンポーネントのインストール ファイルが格納されています。

表 12 Server Management メディアの内容

カテゴリ	CM コンポーネント
Server Management	CM Application Management Profiles
	CM Windows Terminal Server

CM Application Management Profiles

HP Configuration Management Application Management Profiles (CM Application Management Profiles) は、CM Application Manager の上に構築されたツール セットであり、複雑なソフトウェア製品の配布と管理を実現します。CM 管理者は CM Application Management Profiles が提供するツールを使用して、ターゲット製品の設定制御データを分析したり、ターゲットデバイスにソフトウェアを配布して設定したり、成功した配布についてのレポートを実行したりすることができます。『HP Configuration Management Application Management Profiles User Guide』を参照してください。

CM Windows Terminal Server

HP Configuration Management Windows Terminal Server および Citrix Support (CM Windows Terminal Server) は、一部の Windows オペレーティング システムで提供されているシンクライアント サーバーである Windows Terminal Services と連携します。Windows Terminal Services は、アプリケーションの処理をユーザーのデスクトップから中央のサーバーに移します。詳細については、『HP Configuration Management Solutions for Servers Windows Terminal Server and Citrix Support Guide』を参照してください。

CM Usage Manager Media

このメディアには、31 ページの表 13 にリストされた CM コンポーネントのインストール ファイルが格納されています。

表 13 Application Usage Manager メディアの内容

カテゴリ	CM コンポーネント
拡張インフラストラクチャ	CM Usage Manager

CM Application Usage Manager

HP Configuration Management Application Usage Manager (CM Application Usage Manager) は、環境内でのアプリケーションの使用パターンを評価できます。管理者はこの機能を使用して、ライセンス契約に準拠したり、必要に応じてライセンスを再提供したり、ユーザーの生産性をモニタしたりすることができます。さらに、非標準のソフトウェアを特定することにより、企業の標準を強制したり、アプリケーション リソースの実際の使用状況を確認したりすることができます。『HP Configuration Management Application Usage Installation and Configuration Guide』を参照してください。

CM 実装の概要

このガイドは以下のインストールについて解説します。

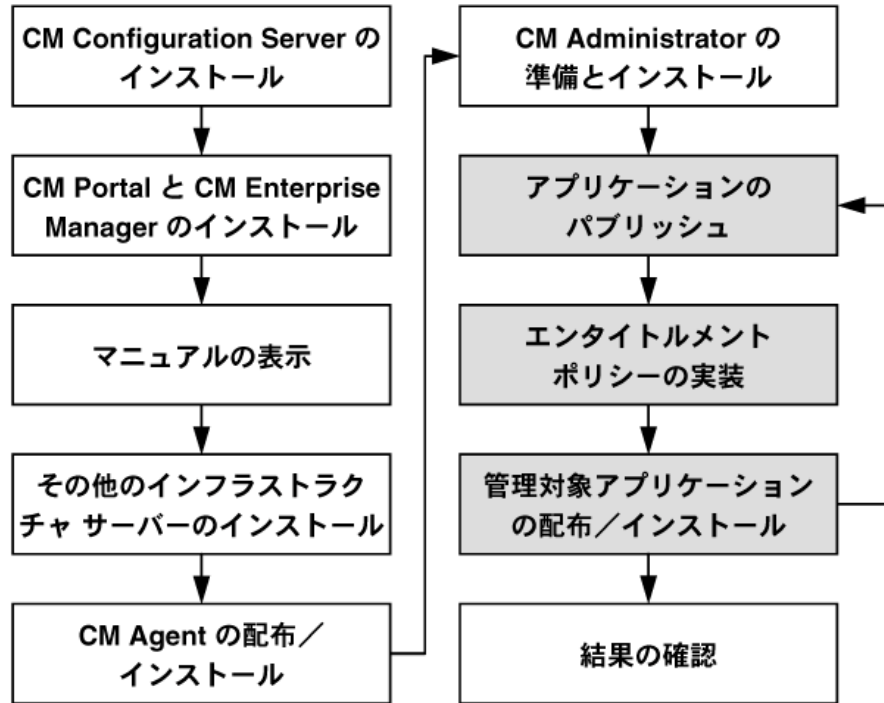
- HP Configuration Management Configuration Server (CM Configuration Server)
- HP Configuration Management Portal (CM Portal)
- HP Configuration Management Enterprise Manager (CM Enterprise Manager)

機能的な CM インフラストラクチャを実現するためには、CM Configuration Server、CM Portal、および CM Enterprise Manager を必ずインストールする必要があります。

これらの製品をインストールしてから、ライセンス契約に基づいて、追加の CM 製品をインストールすることができます。CM インフラストラクチャを配置することで、企業内のすべてのデジタル資産を CM で管理できます。

図 2 は、機能的な CM 実装の概要を示します。

図 2 CM 環境



CM Portal および CM Enterprise Manager のタスク

33 ページの表 14 は、CM Portal および CM Enterprise Manager が処理する Configuration Management タスクをリストしています。



表 14 を使用して、リストされた各タスクを完了するために使用すべき製品を確認してください。

表 14 CM Portal および CM Enterprise Manager のタスク

CM Portal	CM Enterprise Manager
<ul style="list-style-type: none">• CM Agent および CM Proxy Server の配布	<ul style="list-style-type: none">• 管理ポリシー
<ul style="list-style-type: none">• CM Proxy Server の同期	<ul style="list-style-type: none">• CM Agent への通知
<ul style="list-style-type: none">• OS 管理作業	<ul style="list-style-type: none">• ディレクトリ サービスの設定
<ul style="list-style-type: none">• ディレクトリの管理	<ul style="list-style-type: none">• ユーザーの設定
<ul style="list-style-type: none">• デバイスの電源管理	<ul style="list-style-type: none">• デバイスのインポート
<ul style="list-style-type: none">• 詳細なポリシー オペレーション	<ul style="list-style-type: none">• 仮想マシンの管理
	<ul style="list-style-type: none">• レポートの表示 (統合された CM Reporting Server を使用)

これらのタスクについて詳しくは、CM Portal および CM Enterprise Manager のドキュメントを参照してください。

まとめ

- **CM** コンポーネントをインストールするには、適切なライセンスファイルが必要です。
- すべての **CM** 実装には、**CM Configuration Server** が含まれている必要があります。
- **CM Agent** とは、**CM Application Self-service Manager Agent**、**CM Application Manager Agent**、および **CM Inventory Manager Agent** です。
- **HP** のドキュメント Web サイト (http://ovweb.external.hp.com/lpe/doc_serv/) を定期的にチェックして、最新版のマニュアル、リリースノート、移行ガイドを確認してください。

2 UNIX 用の CM Configuration Server インストール

この章は以下を目的としています。

- UNIX 環境での **CM Configuration Server** システム要件を理解する。
- UNIX 環境に **CM Configuration Server** をサイレント インストールする、または GUI (グラフィカル ユーザー インターフェイス) 経由でインストールする。

この章の概要

この章の 36 ページ以降では、HP Configuration Management Configuration Server (CM Configuration Server) の最新版のインストールについて詳しく説明します。

システム要件

プラットフォームのサポート

このリリースでサポートされるプラットフォームについて詳しくは、付属のリリースノートを参照してください。

CM Configuration Server のインストール

このセクションでは、CM Configuration Server のインストール手順を説明し、様々な UNIX プラットフォームのシステム要件を確認します。

インストールのタイプ

インストールには、サイレントとユーザー インターフェイスという 2 種類の方法があります。

- **サイレント**
自動的にコマンドラインが起動するインストールで、事前設定されたデータベース設定パラメータを使用します。CM Configuration Server Database と以下をインストールします。
 - ポート 3464 に設定される TCP/IP 通信プロトコル
 - 3 種類の TCP/IP 通知マネージャ
 - デフォルトのキャッシング設定および SNMP 設定
 - CM Configuration Server 用のデフォルト インターネット設定

- **ユーザー インターフェイス (GUI)**
グラフィカルなインストールです。CM 管理者は CM 環境をカスタマイズするために、様々なパラメータを指定する必要があります。事前設定されたデータベース設定パラメータがあります。また、**CM Configuration Server Database** と以下の設定可能なパラメータをインストールします。
 - TCP/IP 通信プロトコルおよびポート
 - TCP/IP 通知マネージャ
 - キャッシング設定および SNMP 設定
 - CM Configuration Server 用のインターネット設定

CM Configuration Server のディレクトリ

表 15 には、CM Configuration Server のインストール時に自動的に作成されたディレクトリをリストします。

表 15 CM Configuration Server のディレクトリ

ディレクトリ	内容
bin	CM Configuration Server を開始、停止、クリーンアップ、クエリするためのシェルスクリプト。
DB	CM Configuration Server Database ファイル。
exe	CM Configuration Server メソッドおよび実行可能ファイル。
internet	インターネット HTML および画像ファイル。
lib	CM Configuration Server が正しく機能するために必要なファイル。 注意： これらのファイルは変更または削除しないでください。
log	CM Configuration Server ログ。
rexx	このディレクトリは、カスタマイズされた REXX メソッドを格納します。 注意： サブフォルダ NOVADIGM にはデフォルトの CM Configuration Server REXX メソッドが格納されています。以下の注意を参照してください。

▶ ConfigurationServer¥rexx¥NOVADIGM ディレクトリにある CM Configuration Server メソッドを変更すると、CM の処理に悪影響を与える場合があります。

そのため、変更前に、一階層上の ConfigurationServer¥rexx ディレクトリにメソッドをコピーすることをお勧めします。

UNIX 用のシステム推奨

38 ページの表 16 は、CM Configuration Server および関連する要素をインストールおよび操作するために UNIX プラットフォーム上に必要となる空き容量を示します。CM Configuration Server をインストールしているシステムに、これらの制限を割り当てることをお勧めします。

▶ これらの推奨事項は、オペレーティング システムの一般的な最小限の推奨値を表します。CM Configuration Server Database をインストールしている環境に応じて、これらを調整してください。

表 16 CM Configuration Server の容量についての要件

コンポーネント	すべてのプラットフォーム
メモリ	512 MB
スワップ	2 GB
CM Configuration Server Directory 重要な注意：この容量推奨値には、CM Configuration Server で管理するその他のアプリケーションの推奨値は含まれません。	75 MB
CM Configuration Server Database *	注記を参照 *
CM Configuration Server ログ	50 MB

▶ * CM Configuration Server Database のサイズは、CM Configuration Server が管理するアプリケーションのサイズと数に応じて異なります。HP では、管理するアプリケーションのサイズの約 50% として見積もることをお勧めします。

CM Configuration Server Database をインストールしている環境に基づいて推奨値を調整してください。

UNIX インストール前のチェックリスト

インストールを開始する前に、必ず以下の項目を確認してください。

- インストールを行うユーザーには、以下が必要になります。
 - UNIX ワークステーション上にターゲットのインストール ディレクトリを作成および更新するために必要な権限
 - UNIX ワークステーション上のホーム ディレクトリ (root としてログインしない)
- このインストール プログラムは UNIX 内で起動します。
- SNMP プロセスが実行されている場合、停止させます。
- CM Configuration Server のインストールを開始する前に、以下の作業を行ってください。
 - アンチ ウィルス プログラムなど、他のすべてのアプリケーションを閉じる。
 - 実行中のその他のタスクおよびオペレーションをすべて停止させる。

UNIX インストール前のヒント

- インストール時にライセンス ファイルに簡単にアクセスできるようにします。
- 任意のウィンドウで **[キャンセル]** をクリックすると、インストールを終了できます。**[キャンセル]** を誤ってクリックしても、確認プロンプトが表示されるため、インストール プログラムへ戻ることができます。
- 適宜 **[戻る]** をクリックして、前のウィンドウに戻ることができます。入力済みの情報はすべて変更されずに残ります。
- 大部分のウィンドウには、関連するエラー メッセージがあります。設定が不適切である場合、エラー メッセージが表示されます。**[OK]** をクリックして、正しい情報を入力します。
- このインストール プログラムは、デフォルト値があればデフォルト値を表示します。すべてのデフォルト値を受け入れるようお勧めしますが、会社の環境に合わせてパラメータを指定して上書きすることもできます。

UNIX インストール前の注意

すべての UNIX プラットフォーム

arp ユーティリティ

CM Configuration Server (CM-CS) のインストールを実行する UNIX ユーザーには、一般に /usr/sbin に格納されている arp という UNIX ユーティリティへのアクセス権限が必要です。

CM Configuration Server のインストール エラーを防止するために、CM Configuration Server をインストールする UNIX ユーザーは以下のいずれかを行う必要があります。

- デフォルトの PATH 変数に /usr/sbin を追加する
- UNIX 管理者に依頼して、CM-CS をインストールする UNIX ユーザーが利用できるパスに arp ユーティリティをコピーまたは移動する

ディレクトリ パーミッション

CM Configuration Server をインストールするユーザーには、以下の権限が必要です。

- root の下の /tmp ディレクトリ
- そのディレクトリへの書き込み パーミッション

HP-UX の注意

サブ ディレクトリ

CM Configuration Server メディアの /configuration_server ディレクトリには、hprisc サブ ディレクトリが 2 つあります。必ず正しいサブ ディレクトリに移動してください。

- PA-RISC 2.0 チップセットの場合、インストール メディアは /hprisc2 にあります。
- PA-RISC 1.1 チップセットの場合、インストール メディアは /hprisc1 にあります。

DVD のマウント

HP-UX プラットフォームでは、`pfs_mount` を使用して **CM** メディアをマウントする必要があります。これは、**DVD** が **Rock Ridge** 形式を利用して作成されているためです。**HP-UX** の標準マウント手順は、**Rock Ridge** ファイル システム タイプと互換性がありません。そのため、**HP** では、ワークステーションがこの形式を認識できるように、**Portable File System (PFS)** パッケージをご用意しました。具体的な手順は以下のとおりです。

- **DVD** を挿入し、`/usr/sbin/pfs_mount -v -x unix /dvd/mnt` と入力してマウントします。
- アンマウントするには、`/usr/sbin/pfs_umount /mnt` と入力します。

HP-UX プラットフォーム上に **CM Configuration Server** をインストールする場合、`mount -o cdcase /dev/<dvd_device> /cdrom` のように小文字でファイル名が表示されるよう **DVD** ドライブをマウントする必要があります。

DVD ドライブのマウント時に `cdcase` パラメータを使用しないと、**DVD** のファイル名が大文字で表示されるようになり、インストールは失敗します。



詳細については、ローカルの **UNIX** システム管理者に問い合わせるか、**UNIX** の *man* ページを参照してください。

CM Configuration Server のインストール後は、**HP** 製品サポート **Web** ページを定期的にチェックして、このバージョンに関連するサービスパック、更新、修正などを確認してください。

Linux に関する注意

ここで説明するように、**Linux Enterprise Server** のインストール前には、考慮すべき事項が 2 つあります。

RedHat Enterprise Linux ES バージョン 5.0 : 32 ビット、x86 オペレーティングシステム

CM Configuration Server のインストールを開始する前に、`compat-libstdc++-8-3.3.4.2.i386.rpm` ファイルを必ずインストールしてください。

このファイルがインストールされていないと、**CM Configuration Server** インストールは失敗します。

RedHat Enterprise Linux ES バージョン 4.0 : 64 ビット、AMD オペレーティングシステム

CM Configuration Server のインストールを開始する前に、libgcc-4.0.2-8.fc4.i386.rpm および compat-libstdc++-8-3.3.4.2.i386.rpm というファイルを X86_64 アーキテクチャ用に必ずインストールしてください。

これらのファイルがインストールされていないと、CM Configuration Server インストールは失敗します。

UNIX 環境変数

LIBRARY_PATH 環境変数には、次の例のように、ピリオド (.) で示される現在の作業ディレクトリの後に、オペレーティング システムの共有ライブラリ ファイルまでのパスを記述する必要があります。

```
LD_LIBRARY_PATH=/lib:./usr/lib
```

また、PATH 環境変数には、次の例のように、ピリオド (.) で示される現在の作業ディレクトリに加え、オペレーティング システムの Bourne シェル実行可能ファイル (大部分の UNIX システムでは、実行可能ファイル sh は /usr/bin にあります) が格納されるディレクトリへの相対パスが含まれていることを確認します。

```
PATH=/bin:/usr/bin/./usr/bin/X11
```

HP では、CM Configuration Server をインストールおよび管理する UNIX ユーザー ID のログオン スクリプトにこれらの環境変数を追加することをお勧めします。

表 17 は、CM Configuration Server をインストール可能な 4 種類のプラットフォーム用に指定する環境変数の例を示します。

▶ 表 17 では、現在の作業ディレクトリを \$XXXXXX および \$YYYYY と示します。これらのサンプル文字の代わりに、現在の作業ディレクトリを必ず指定してください。

表 17 環境変数

プラットフォーム	例
AIX	LIBPATH = /lib:\$XXXXXX:\$YYYYY:\$LIBPATH
	PATH = /bin:/usr/bin:\$XXXXXX:\$YYYYY:\$PATH
HP-UX	SHLIB_PATH = /lib:\$XXXXXX:\$YYYYY:\$SHLIB_PATH
	PATH = /bin:/usr/bin:\$XXXXXX:\$YYYYY:\$PATH

プラットフォーム	例
Linux	LD_LIBRARY_PATH = /lib:\$XXXXX:\$YYYYY:\$LD_LIBRARY_PATH
	PATH = /bin:/usr/bin:\$XXXXX:\$YYYYY:\$PATH
Solaris	LD_LIBRARY_PATH = /lib:\$XXXXX:\$YYYYY:\$LD_LIBRARY_PATH
	PATH = /bin:/usr/bin:\$XXXXX:\$YYYYY:\$PATH

▶ CM Configuration Server は、必ず startmgr スクリプトで起動する必要があります。これは、startmgr スクリプトを使用すれば、CM Configuration Server バイナリへの実際のパスをユーザーのパス環境変数に動的に追加できるためです。

設定ファイル

CM Configuration Server インストール用のデフォルト パラメータは、setup.cfg ファイルに格納されています。HP では、サイレントインストールを開始する前に、このファイルを参照することをお勧めします。

以下のサンプル コードは、CM Configuration Server の setup.cfg ファイルから抜粋したものです。

```
# $Revision: 1.3 $
#
source comprcsf.tcl
SelectComprcs patchmanager 1
SelectComprcs usagemanager 0
SelectComprcs osmanager 0
SelectComprcs mgr 1

#####
Variable HP_product_name "HP OVCM Configuration Server"

Variable PACKAGE "CM-CS"

Variable PKGNAME "HP OVCM Configuration Server"

Windows {
Variable INSTDIR "$::env(PROGRAMFILES)\Hewlett-
Packard\CM Configuration Server"
```

```

Variable DESTDB "$::env(PROGRAMFILES)¥¥Hewlett-
Packard¥¥CM¥¥ConfigurationServer¥¥DB"
Variable LICENSEFILE "C:¥¥license.nvd"
}

UNIX {
Variable INSTDIR "/opt/HP/CM/ConfigurationServer"
Variable DESTDB "/opt/HP/CM/ConfigurationServer/DB"
Variable LICENSEFILE "~/license.nvd"
}

Variable MGRPORT "3464"
Variable LICEMAIL ""
Variable MGRID "001"
Variable MGRNAME "CMCS"
Variable PORTALUID "romadmin"
Variable PORTALPASS "secret"

Variable global_GUID 000
Variable enable_debug 0

Variable uninstalldata_numlines 0
Variable WinShortcuts 1
Variable DOBACKUP 1
Variable startrcs 1

```

CM Configuration Server をインストールする

このセクションでは、**CM Configuration Server** のインストール手順を説明しています。このインストールを開始する前に、ここまで説明した「[UNIX インストール前のチェックリスト](#)」セクションと「[UNIX インストール前のヒント](#)」セクションを確認してください。

サイレント インストール



デフォルトでは、このサイレントインストールを行うと、既存の **CM Configuration Server Database** がバックアップされます。

この機能をオフにするには、`setup.cfg` ファイルを開き、`DOBACKUP` の値を **0** に変更します。

CM Configuration Server のサイレント インストールを実行するには

- 1 コンソールから、またはインストールプログラムを実行する UNIX ユーザー ID でログオンした X-Windows エミュレータから、UNIX シェル ウィンドウを開きます。
- 2 HP CM Configuration Server のメディアを光学ドライブに挿入します。
- 3 現在のディレクトリから、プラットフォーム固有のインストールプログラムが格納されているメディアのディレクトリに移動します。たとえば、**CM Configuration Server** を Solaris マシンにインストールしている場合、`cd /cdrom/cdrom0/Configuration Server/management_infrastructure/configuration_server/solaris` のようにナビゲーションします。

CM Configuration Server を HP-UX プラットフォームにインストールしている場合、`cd /mnt/cdrom0/Configuration Server/management_infrastructure/configuration_server/hprisc2` のようにナビゲーションします。

- 4 `./setup -mode silent` と入力し、**Enter** キーを押します。

CM Configuration Server が、`setup.cfg` ファイルに格納されている事前設定されたパラメータを使用して、そのロケーションに自動的にインストールされます。

GUI インストール

CM Configuration Server の GUI インストールを実行するには

- 1 コンソールから、またはインストールプログラムを実行する UNIX ユーザー ID でログオンした X-Windows エミュレータから、UNIX シェル ウィンドウを開きます。
- 2 HP CM Configuration Server のメディアを光学ドライブに挿入します。
- 3 現在のディレクトリから、インストールプログラムの格納されているメディア上のディレクトリに移動します。たとえば、**CM Configuration Server** を Solaris マシンにインストールしている場合、`cd /cdrom/cdrom0/Configuration Server/management_infrastructure/configuration_server/solaris` のようにナビゲーションします。
- 4 `./setup` と入力し、**Enter** キーを押します。

[HP OpenView CM Configuration Server インストールへようこそ] ウィンドウが開き、GUI インストールが始まります。

5 **[次へ]** をクリックします。

(インストール中に **[キャンセル]** をクリックすると、インストールをいつでも終了できます。)

[HP OpenView CM Configuration Server インストール エンドユーザー ライセンス契約] ウィンドウが表示されます。

6 **[同意する]** をクリックします。



[同意する] を選択しないと、CM Configuration Server のインストール プログラムは終了します。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation Directory Specifications (HP OpenView CM Configuration Server インストール ディレクトリ設定)] ウィンドウが表示されます。

7 表示されているデフォルトの **root** インストール ディレクトリを受け入れるか、**[ブラウズ]** をクリックして **CM Configuration Server** の実行可能ファイル、ログ ファイル、インターネット ファイル、および **REXX** ファイル用の別のリポジトリに移動します。

表示されているデフォルトの **database** インストール ディレクトリを受け入れるか、**[ブラウズ]** をクリックして **CM Configuration Server Database** ファイル用の別のリポジトリに移動します。



旧バージョンの **CM Configuration Server** および **CM Configuration Server Database** が、デフォルト ディレクトリにインストールされている場合、**HP OpenView CM Configuration Server** インストール ディレクトリの更新というメッセージが表示されます。

[OK] をクリックして更新を続行するか、**[キャンセル]** をクリックして別のロケーションを指定します。

8 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation Backup Directory (HP OpenView CM Configuration Server インストールのバックアップ ディレクトリ)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウで、次のいずれかを行います。

- デフォルト (**[はい]**) を受け入れて、インストール プログラムに既存ファイルのバックアップを作成させる。

(このディレクトリの名前は、マシンのデフォルト タイム ゾーンの日付と時刻を返すデフォルト UNIX シェル コマンドによって決定されます。)

- **[いいえ]** を選択して、既存のファイルを削除する。

9 [次へ] をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation Post-Installation Start (HP OpenView CM Configuration Server インストールおよびインストール後の起動)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウにおいて：

- **CM Configuration Server** はインストールされるため、**CM Configuration Server** のオプションはオンの状態で無効になっています。
- **CM Patch Manager**、**CM Usage Manager**、および/または **CM OS Manager** を選択すると、それらの製品のインストールが自動的に追加されます。



これらの追加製品を選択しても、インストールは実行されないことに注意が必要です。**CM Configuration Server** インストールは、これらの製品をサポートするために必要なデータベース デッキのみをインストールします。製品自体は、それぞれのインストールプログラムでインストールする必要があります。

また、**CM Patch Manager**、**CM Usage Manager**、**CM OS Manager** を選択しても、**CM Configuration Server** インストールには影響はなく、追加のダイアログ ボックスも表示されません。

10 [次へ] をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation Post-Installation Start (HP OpenView CM Configuration Server インストールおよびインストール後の起動)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウで、次のいずれかを行います。

- デフォルト ([はい]) を受け入れて、インストールの終了時に **CM Configuration Server** を自動的に起動させる。
- [いいえ] を選択して、インストールの終了時に **CM Configuration Server** が自動的に起動しないようにする。



51 ページの「**CM Configuration Server** の起動、停止、特定、およびクリーンアップ」を参照してください。

11 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation Location of License File (HP OpenView CM Configuration Server インストール用ライセンスファイルのロケーション)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウにおいて：

- ライセンス ファイル ウィンドウの入力フィールドに表示されているロケーションがライセンス ファイルのロケーションを反映している場合、**[次へ]** をクリックします。または、
- 正しいロケーションを指定するか、**[ブラウザ]** をクリックしてライセンス ファイルへ移動します。

12 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation E-mail Address (HP OpenView CM Configuration Server インストール用電子メールアドレス)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウには、ライセンスの満了通知の送信先電子メールアドレスを指定するオプションがあります。

13 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation CM Configuration Server ID (HP OpenView CM Configuration Server インストール用 CM Configuration Server ID)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウにおいて：

- CM Configuration Server 用の 3 文字の ID を指定します。
有効な値は、001 から EFF までの 16 進数 (0~9 と A~F) です。
(この ID は CM Configuration Server のログ ファイルのプレフィックスとして使用されます。)

このフィールドは必須です。

14 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation CM Configuration Server Name (HP OpenView CM Configuration Server インストール用 CM Configuration Server 名)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウにおいて：

- CM Configuration Server の名前を最大 32 文字で指定します。

このフィールドは必須です。

15 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation TCP/IP Port (HP OpenView CM Configuration Server インストール用 TCP/IP ポート)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウには、**CM Configuration Server** が使用する通信ポートが表示されます。

- このウィンドウに表示されるデフォルト ポート (**3464**) を受け入れます。(推奨)
- あるいは、**CM Cnfiguration Server** の通信用に別のポートを指定します。

16 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation Zone Name for the Management Portal (HP OpenView CM Configuration Server インストールの Portal 管理用ゾーン名)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでは、以下のガイドラインに従って、**CM Portal** のインスタンスと関連のあるゾーン名を指定します。

- 最高 **64** 文字まで指定可能。
- 文字 (**a~z** および **A~Z**)、数字 (**0~9**) およびスペース文字のみ使用可能。
- アンダースコア、カンマ、ピリオドのような特殊文字は使用しない。



CM Portal のゾーン名について詳しくは、『**CM Portal Guide**』を参照してください。

17 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation CM Portal Credentials (HP OpenView CM Configuration Server Installation CM Portal の認証)] ウィンドウが表示されます。

- このウィンドウでは、**CM Portal** 用の有効なユーザー **ID** とパスワードクレデンシャルを設定します。

18 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation Summary of Installation Input (HP OpenView CM Configuration Server インストールインストール入力の要約)] ウィンドウが表示されます。CM Configuration Server のインストール中に指定したすべての情報が表示されます。この画面は、指定した設定を確認および変更する最後の機会です。

— エラーを見つけた場合や、エントリを変更したい場合には、**[戻る]** をクリックして適切なウィンドウに戻り、必要な変更を行います。

他のウィンドウで入力した情報は、変更の影響を受けません。変更後、**[次へ]** を繰り返しクリックし、[入力の要約] ウィンドウまで戻ります。

19 **[インストール]** をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation Progress (HP OpenView CM Configuration Server インストール実行中)] ウィンドウが表示されます。

インストールが終了すると、[HP OpenView CM Configuration Server Installation Finish (HP OpenView CM Configuration Server インストールの終了)] ウィンドウが表示されます。

20 **[完了]** をクリックします。

UNIX 用 CM Configuration Server は正常にインストールされました。

UNIX インストール後の注意

CM Configuration Server のメモリ使用量、通信、およびプロセス間通信 (IPC) に対応させるためにカーネルパラメータをチューニングする方法についての重要な情報は、付録 A の「**UNIX カーネルのチューニング**」を参照してください。

CM Configuration Server の起動、停止、特定、およびクリーンアップ

以降の 4 つの手順において、「Manager」とは CM Configuration Server を指します。この 4 つのタスクを行うためには、CM 管理者は CM Configuration Server をインストールした UNIX ユーザー ID を使用してシステムにログオンする必要があります。

CM Configuration Server を起動するには

- 1 `cd /opt/HP/CM/ConfigurationServer/bin` と入力し、**Enter** キーを押して、CM Configuration Server の bin ディレクトリに移動します。
- 2 `./startmgr` と入力し、**Enter** キーを押します。

CM Configuration Server が起動し、一連の起動メッセージが表示されます。

▶ オプションで、数字のパラメータを `./startmgr` コマンドに追加できます。

このパラメータは、CM Configuration Server の起動を確認するまでの待ち時間の長さ（秒）を指定します。デフォルトは 100（秒）です。

プロセッサが遅い状況や実行中のシステム タスクの数が多いう状況でデータベースの多くをキャッシングする場合に、このパラメータが役に立ちます。以下の例では、40 秒経過してから確認を行います。

```
./startmgr 40
```

▶ CM Configuration Server の実行中に「起動」を試行すると、以下のメッセージが表示されます

```
Manager already started with USER-ID=[user id] and  
PID=[HP OVCM Configuration process id]
```

CM Configuration Server を停止するには

- 1 `cd /opt/HP/CM/ConfigurationServer/bin` と入力し、**Enter** キーを押して、CM Configuration Server の bin ディレクトリに移動します。
- 2 `./killmgr` と入力し、**Enter** キーを押します。

次のシャットダウン メッセージが表示されます。

```
Killing Manager with USER-ID=[user id] in 30 seconds.Please  
wait.
```



`./killmgr` を実行すると、`./clean_ipc` スクリプトが明示的に呼び出されます。

`root` に使用されるすべての IPC リソースが削除されるため、いずれのスクリプトも `root` として実行しないでください。

CM Configuration Server が実行されていない場合、次のメッセージが表示されます。

```
Manager is not running with USERID=[user id]...do nothing
```

CM Configuration Server を特定するには



CM Configuration Server が実行中である必要があります。

- 1 `cd /opt/HP/CM/ConfigurationServer/bin` と入力し、**Enter** キーを押して、CM Configuration Server の `bin` ディレクトリに移動します。
- 2 `./whatmgr` と入力し、**Enter** キーを押します。



ユーザー ID および各 TCP/IP ポート番号、データベースパス、ログパス、およびメソッドパスは、このシステムで実行中の現在アクティブな CM Configuration Servers に対応するものが表示されます。アクティブな CM Configuration Servers がない場合、応答はありません。

CM Configuration Server をクリーンアップするには

- 1 `cd /ConfigurationServer/bin` と入力し、**Enter** キーを押して、CM Configuration Server の `bin` ディレクトリに移動します。
- 2 CM Configuration Server を停止させます。
- 3 `./clean_ipc` と入力し、**Enter** キーを押します。

このコマンドを発行すると、CM Configuration Server の前回セッションでのメッセージ、共有メモリ、セマフォが削除されます。



HP は以下の場合に、`./clean_ipc` を使用しないことを強く推奨します。

- CM Configuration Server の実行中
- `root` としてログオンしている場合

3 Windows 用の CM Configuration Server インストール

この章は以下を目的としています。

- Windows 環境での CM Configuration Server システム要件を理解する。
- Windows 環境に CM Configuration Server をサイレント インストールする、または GUI（グラフィカル ユーザー インターフェイス）経由でインストールする。

システム要件

プラットフォームのサポート

このリリースでサポートされるプラットフォームの詳細については、付属のリリース ノートを参照してください。

CM Configuration Server のインストール

このセクションでは、**CM Configuration Server** のインストール手順を説明し、様々な **Windows** プラットフォームのシステム要件を確認します。

インストールのタイプ

インストールには、サイレントとユーザー インターフェイスという 2 種類の方法があります。

- **サイレント**

自動的にコマンドラインが起動するインストールで、事前設定されたデータベース設定パラメータを使用します。**CM Configuration Server Database** と以下をインストールします。

- ポート **3464** に設定される **TCP/IP** 通信プロトコル
- 3 種類の **TCP/IP** 通知マネージャ
- デフォルトのキャッシング設定および **SNMP** 設定
- **CM Configuration Server** 用のデフォルト インターネット設定

- **ユーザー インターフェイス (GUI)**

グラフィカルなインストールです。**CM** 管理者は **CM** 環境をカスタマイズするために、様々なパラメータを指定する必要があります。事前設定されたデータベース設定パラメータがあります。また、**CM Configuration Server Database** と以下の設定可能なパラメータをインストールします。

- **TCP/IP** 通信プロトコルおよびポート
- **TCP/IP** 通知マネージャ
- キャッシング設定および **SNMP** 設定
- **CM Configuration Server** 用のインターネット設定

CM Configuration Server のディレクトリ

55 ページの表 18 は、CM Configuration Server のインストール時に自動的に作成されたディレクトリのリストを表示します。

表 18 CM Configuration Server のディレクトリ

ディレクトリ	内容
bin	CM Configuration Server のバイナリと実行可能ファイル、データベースユーティリティ実行可能ファイル、raddbutil.exe、SSL「証明書」用の 2 つのディレクトリ、edmprof ファイル。
DB	CM Configuration Server Database ファイル。
internet	ARGS.XML ファイル。
lib	CM インフラストラクチャおよび CM Patch Manager Server の .tcl スクリプト。 注意： これらのファイルは変更または削除しないでください。
log	CM Configuration Server ログ。
modules	CM OS Manager 用 .tkd ファイル。
rexx	このディレクトリは、カスタマイズされた REXX メソッドを格納します。 注意： サブフォルダ NOVADIGM にはデフォルトの CM Configuration Server REXX メソッドが格納されています。以下の注意を参照してください。
shell	アンインストール スクリプトやクエリ スクリプトなどのバッチファイルおよびアプリケーションファイル、ならびに [スタート] メニューから利用できる CM Configuration Server オプションと一致するファイル。



ConfigurationServer¥rexx¥NOVADIGM ディレクトリにある CM Configuration Server メソッドを変更すると、Configuration Management 処理に悪影響を与える場合があります。

そのため、変更前に、一階層上の ConfigurationServer¥rexx ディレクトリにメソッドをコピーすることをお勧めします。

Windows 用システム推奨

56 ページの表 19 は、Windows 環境で CM Configuration Server をインストールおよび操作するために必要なディスク容量の要件を示します。

- ▶ これらの推奨値は、オペレーティング システムの一般的な最小限の推奨値を示しています。CM Configuration Server Database をインストールしている環境に基づいて推奨値を調整してください。

表 19 CM Configuration Server の容量についての要件

コンポーネント	すべてのプラットフォーム
メモリ	512 MB
仮想メモリ	2 GB
CM Configuration Server のディレクトリ 重要な注意：この容量推奨値には、CM Configuration Server で管理するその他のアプリケーションの推奨値は含まれません。	75 MB
CM Configuration Server Database *	注記を参照 *
CM Configuration Server ログ	50 MB

- ▶ * CM Configuration Server Database のサイズは、CM Configuration Server が管理するアプリケーションのサイズと数に応じて異なります。HP では、管理するアプリケーションのサイズの約 50% として見積もることをお勧めします。

CM Configuration Server Database をインストールしている環境に基づいて推奨値を調整してください。

Windows インストール前のチェックリスト

インストールを開始する前に、必ず以下の項目を確認してください。

- インストールを実行するユーザーが管理者グループに含まれていること。含まれていないと、CM Configuration Server を正しくインストールできません。
- 旧バージョンの CM Configuration Server が実行中である場合、シャットダウンします。

- SNMP プロセスが実行中の場合、停止させます。
 - ▶ SMTP のスタートアップタイプが **AUTOMATIC** である場合、**MANUAL** に変更し、マシンを再起動してから続行します。
- **CM Configuration Server** のインストールを開始する前に、以下の作業を行ってください。
 - アンチ ウィルス プログラムなど、他のすべてのアプリケーションを閉じる。
 - 実行中のその他のタスクおよびオペレーションをすべて停止させる。
 - ▶ インストール メディアには、ライセンスを取得していない製品が含まれている場合があります。
ライセンスを取得している製品のみをインストールしてください。

Windows インストール前のヒント

- インストール時にライセンス ファイルに簡単にアクセスできるようにします。
- 任意のウィンドウで **[キャンセル]** をクリックすると、インストールを終了できます。**[キャンセル]** を誤ってクリックしても、確認プロンプトが表示されるため、インストールプログラムへ戻ることができます。
- 適宜 **[戻る]** をクリックして、前のウィンドウに戻ることができます。入力済みの情報はすべて変更されずに残ります。
- 大部分のウィンドウには、関連するエラー メッセージがあります。設定が不適切である場合、エラー メッセージが表示されます。**[OK]** をクリックして、正しい情報を入力します。
- このインストール プログラムは、デフォルト値があればデフォルト値を表示します。すべてのデフォルト値を受け入れるようお勧めしますが、会社の環境に合わせてパラメータを指定して上書きすることもできます。

設定ファイル

CM Configuration Server インストール用のデフォルト パラメータは、`setup.cfg` ファイルに格納されています。**HP** では、サイレント インストールを開始する前に、このファイルを参照することをお勧めします。

以下のサンプル コードは、**CM Configuration Server** の `setup.cfg` ファイルから抜粋したものです。

```

# $Revision:1.3 $
#
source comprcsf.tcl
SelectComprcs patchmanager 1
SelectComprcs usagemanager 0
SelectComprcs osmanager 0
SelectComprcs mgr 1

#####Variable
able HP_product_name "HP OVCM Configuration Server"

Variable PACKAGE "CM-CS"

Variable PKGNAME "HP OVCM Configuration Server"

Windows {
Variable INSTDIR "$::env(PROGRAMFILES)\\Hewlett-
Packard\\CM\\ConfigurationServer"
Variable DESTDB "$::env(PROGRAMFILES)\\Hewlett-
Packard\\CM\\ConfigurationServer\\DB"
Variable LICENSEFILE "C:\\license.nvd"
}

# UNIX {
#Variable INSTDIR "/opt/HP/CM/ConfigurationServer"
#Variable DESTDB "/opt/HP/CM/ConfigurationServer/DB"
#Variable LICENSEFILE "~/.license.nvd"
}

Variable MGRPORT "3464"
Variable LICEMAIL ""
Variable MGRID "001"
Variable MGRNAME "CMCS"
Variable PORTALUID "romadmin"
Variable PORTALPASS "secret"

Variable global_GUID 000
Variable enable_debug 0

Variable uninstalldata_numlines 0
Variable WinShortcuts 1
Variable DOBACKUP 1
Variable startrcs 1

```

CM Configuration Server をインストールする

このセクションでは、**CM Configuration Server** のインストール手順を説明しています。このインストールを開始する前に、ここまで説明した「**Windows インストール前のチェックリスト**」セクションと「**Windows インストール前のヒント**」セクションを確認してください。

サイレント インストール



デフォルトでは、このサイレント インストールを行うと、既存の **CM Configuration Server Database** がバックアップされます。

この機能をオフにするには、`setup.cfg` ファイルを開き（前のセクションを参照）、`DOBACKUP` の値を **0** に変更します。

以下の手順は、**CM Configuration Server** のサイレント インストールについての詳しい説明です。

CM Configuration Server のサイレント インストールを実行するには

- 1 **HP Configuration Management** インストール メディアを光学ドライブに挿入します。
- 2 **Windows** プラットフォーム用の **CM Configuration Server** インストールプログラムが格納されているディレクトリに移動します。

```
システム ドライブ:¥Configuration Server¥management_
infrastructure¥configuration_server¥win32
```

- 3 `setup.exe -mode silen` と入力し、**Enter** キーを押します。

CM Configuration Server が、`setup.cfg` ファイルに格納されている事前設定されたパラメータを使用して、そのロケーションに自動的にインストールされます。

GUI インストール

CM Configuration Server の GUI をインストールする詳しい手順は以下のとおりです。

CM Configuration Server の GUI インストールを実行するには

- 1 HP Configuration Management インストール メディアを光学ドライブに挿入します。
- 2 Windows プラットフォーム用の CM Configuration Server インストールプログラムが格納されているディレクトリに移動します。

システム ドライブ:¥Configuration Server¥management_
infrastructure¥configuration_server¥win32

- 3 setup.exe をダブルクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server インストールへようこそ] ウィンドウが開き、GUI インストールが始まります。

- 4 [次へ] をクリックします。

(インストール中に [キャンセル] をクリックすると、インストールをいつでも終了できます。)

[HP OpenView CM Configuration Server インストール エンドユーザー ライセンス契約] ウィンドウが表示されます。

- 5 [同意する] をクリックします。



[同意する] を選択しないと、CM Configuration Server のインストールプログラムは終了します。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation Directory Specifications (HP OpenView CM Configuration Server インストールディレクトリ設定)] ウィンドウが表示されます。



[Directory Specifications] ウィンドウでは、**root** インストールディレクトリの設定には ASCII 文字のみがサポートされます。



このウィンドウにおいて：

- 表示されているデフォルトの **Root** インストールディレクトリおよびデフォルトのデータベース インストールディレクトリを受け入れるか、または
- ロケーションを指定するか、**[ブラウズ]** をクリックして **CM Configuration Server** のファイルおよび **CM Configuration Server Database** ファイル用の別のリポジトリへ移動します。

▶ 旧バージョンの **CM Configuration Server** および **CM Configuration Server Database** がデフォルトディレクトリに存在する場合、ディレクトリの更新を求めるメッセージが表示されます。

[OK] をクリックして更新を続行するか、**[キャンセル]** をクリックして別のロケーションを指定します。

6 **[次へ]** をクリックします。

旧バージョンの **CM Configuration Server** および **CM Configuration Server Database** がデフォルトディレクトリにインストールされており、ディレクトリの更新を求めるメッセージに対して（更新を継続するために）**[OK]** を選択した場合、**[HP OpenView CM Configuration Server Installation Backup Directory (HP OpenView CM Configuration Server インストールバックアップディレクトリ)]** ウィンドウが表示されます。

このウィンドウにおいて：

- **[はい]** (デフォルト) を選択すると、インストール プログラムにより既存ファイルのバックアップが作成されます。

このディレクトリの名前は、マシンのデフォルト タイム ゾーンの日付と時刻の値を返すオペレーティング システムによって決定されます。

- **[いいえ]** を選択すると、既存のファイルが削除されます。

7 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation Post-Installation Start (HP OpenView CM Configuration Server インストールおよびインストール後の起動)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウにおいて：

- **CM Configuration Server** はインストールされるため、**CM Configuration Server** のオプションはオンの状態で無効になっています。

▶ 67 ページの「**Windows サービスとしての CM Configuration Server**」を参照してください。

- **CM Patch Manager**、**CM Application Usage Manager**、および/または **CM OS Manager** を選択すると、それらの製品のインストールが自動的に追加されます。





これらの追加製品を選択しても、インストールは実行されないことに注意が必要です。CM Configuration Server インストールは、これらの製品をサポートするために必要なデータベース デッキのみをインストールします。製品自体は、それぞれのインストールプログラムでインストールする必要があります。

また、CM Patch Manager、CM Usage Manager、CM OS Manager を選択しても、CM Configuration Server インストールには影響はなく、追加のダイアログ ボックスも表示されません。

8 [次へ] をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation Post-Installation Start (HP OpenView CM Configuration Server インストールおよびインストール後の起動)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウにおいて：

- デフォルト ([はい]) を受け入れると、インストール終了時に CM Configuration Server が自動的に起動します。
- [いいえ] を選択すると、インストール後に CM Configuration Server が自動的に起動しなくなります。

9 [次へ] をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation License File (HP OpenView CM Configuration Server インストール用ライセンスファイル)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウにおいて：

- ライセンス ファイルの入力フィールドに表示されているロケーションとファイル名が正しい場合、[次へ] をクリックします。または、
- ファイルのロケーションと名前を指定するか、[ブラウズ] をクリックしてライセンス ファイルに移動します。

10 [次へ] をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation E-mail Address (HP OpenView CM Configuration Server インストール用電子メールアドレス)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウには、ライセンスの満了通知の送信先電子メールアドレスを指定するオプションがあります。

11 [次へ] をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation Configuration Server ID (HP OpenView CM Configuration Server インストールおよび設定用サーバーID)] ウィンドウが表示されます。



このウィンドウでは、CM Configuration Server 用の 3 文字の ID を指定します。有効な値は、001 から EFF までの 16 進数 (0~9 と A~F) です。(この ID は CM Configuration Server のログ ファイルのプレフィックスとして使用されます。)

このフィールドは必須です。

12 [次へ] をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation Configuration Server Name (HP OpenView CM Configuration Server インストール用サーバー名の設定)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでは、CM Configuration Server の名前を最大 32 文字で指定します。

このフィールドは必須です。

13 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation TCP/IP Port
(HP OpenView CM Configuration Server インストール用 TCP/IP ポート)]
ウィンドウが表示されます。

このウィンドウには、**CM Configuration Server** が使用する通信ポートが表示されます。

- このウィンドウに表示されるデフォルト ポート (**3464**) を受け入れます。
(推奨)
- あるいは、**CM Cnfiguration Server** の通信用に別のポートを指定します。

14 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation Management Portal
Zone Name (HP OpenView CM Configuration Server インストール管理用
ポータルゾーン名)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでは、以下のガイドラインに従って、**CM Portal** のインスタンスと関連のあるゾーン名を指定します。

- 最高 **64** 文字まで指定可能。
- 文字 (**a~z** および **A~Z**)、数字 (**0~9**) およびスペース文字のみ使用可能。
- アンダースコア、カンマ、ピリオドのような特殊文字は使用しない。



CM Portal ゾーン名の詳細については、『**CM Portal Guide**』を参照してください。

15 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation CM Portal Credentials
(HP OpenView CM Configuration Server Installation CM Portal の認証)]
ウィンドウが表示されます。

- このウィンドウでは、**CM Portal** 用の有効なユーザー ID とパスワード
クレデンシャルを設定します。

16 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Configuration Server Installation Summary of Installation Input (HP OpenView CM Configuration Server インストール インストール入力の要約)] ウィンドウが表示されます。CM Configuration Server のインストール中に指定したすべての情報が表示されます。この画面は、指定した設定を確認および変更する最後の機会です。

- エラーを見つけた場合や、エントリを変更したい場合には、**[戻る]** をクリックして適切なウィンドウに戻り、必要な変更を行います。
他のウィンドウで入力した情報は、変更の影響を受けません。変更後、**[次へ]** を繰り返しクリックし、[入力の要約] ウィンドウまで戻ります。
- CM Configuration Server のインストール設定が適切であれば、**[インストール]** をクリックします。

17 **[インストール]** をクリックします。

[Installation in Progress (インストール実行中)] ウィンドウが表示されます。

インストールが終了すると、[HP OpenView CM Configuration Server Installation Finish (HP OpenView CM Configuration Server インストールの終了)] ウィンドウが表示されます。

18 **[完了]** をクリックします。

Windows 用 CM Configuration Server は正常にインストールされました。



SNMP スタートアップ タイプを元の設定に必ず戻してください (自動)。

マシンを再起動し、SNMP サービスおよびアンチ ウィルス サービスが復元されていることを確認します。

さらに、CM Configuration Server サービス (**HP OVCM Configuration Server**) が Windows サービスのリストに表示されるようになっています。

- 63 ページのステップ 8 で **[はい]** を選択した場合、HP OVCM Configuration Server サービスが起動します。
- **[いいえ]** を選択した場合、サービスはリストに表示されますが、起動されません。

Windows サービスとしての CM Configuration Server

インストールの過程で、CM Configuration Server を Windows サービスとして設定しました。Windows マシンの [サービス] エリアで、これを確認できます。このセクションで説明するように、CM Configuration Server は Windows サービスとして起動および停止したり、クエリを行うことができます。

Windows サービス オプション

CM Configuration Server が Windows サービスとして実行されるように設定している場合、このセクションでの説明に従って、起動、停止、クエリを行うことができます。

Windows サービスとして CM Configuration Server を起動するには

- 1 [スタート] → [プログラム] → [HP OVCM Configuration Server] の順にクリックします。
- 2 [Windows Services] を選択します。
- 3 [Start as Windows Service (Windows Service として起動)] を選択します。

CM Configuration Server が起動します。68 ページの「[Windows サービスとして CM Configuration Server にクエリを行う](#)」で説明した手順に従って、これを確認できます。

Windows Service として CM Configuration Server を停止するには

- 1 [スタート] → [プログラム] → [HP OVCM Configuration Server] の順にクリックします。
- 2 [Windows Services] を選択します。
- 3 [Stop as Windows Service (Windows Service として停止)] を選択します。

約 2 分で、CM Configuration Server がシャットダウンします。68 ページの「[Windows サービスとして CM Configuration Server にクエリを行う](#)」で説明した手順に従って、これを確認できます。

Windows サービスとして CM Configuration Server にクエリを行う

- 1 [スタート] → [プログラム] → [HP OVCM Configuration Server] の順にクリックします。
- 2 [Windows Services] を選択します。
- 3 [Query Windows Service (Windows サービスにクエリを行う)] を選択します。

コマンド プロンプト ウィンドウが表示されます。このウィンドウには、次のように、CM Configuration Server サービスの様々な情報が表示されます。

- サービス名 (CM Configuration Server の場合、**HP OVCM Configuration Server**)。
- 実行中であるかどうか
- スタートアップ タイプの選択 (自動または手動)。

CM Configuration Server で Windows イベントビューアを使用する

CM Configuration Server が Windows サービスとして実行中の場合、Windows イベント ビューアを使用して、起動やシャットダウンなどに関する重要な CM Configuration Server メッセージを参照できます。

イベント ビューアには、エラー、警告、情報という 3 種類のメッセージが表示されます。CM Configuration Server 処理に関するイベント ビューア メッセージは 5 種類 (情報メッセージが 2 種類、エラーが 3 種類) あります。これらについては、69 ページの「[イベント ビューアの CM Configuration Server メッセージ](#)」で説明しています。


イベント ビューアにアクセスする

イベント ビューアは、各種 Windows オペレーティング システムから様々な方法で起動できます。オペレーティング システムでイベント ビューアにアクセスする方法について詳しくは、オペレーティング システムに付属するドキュメントを参照してください。

CM Configuration Server メッセージをフィルタする

イベント ビューアを開くと、CM Configuration Server 固有のメッセージを簡単に表示できます。

CM Configuration Server メッセージを検索するには

 次の手順は、大部分の Windows オペレーティング システムにおいてこの説明のとおり利用できます。

- 1 [アプリケーション] を選択します。
- 2 メニュー バーで [表示] をクリックし、[フィルタ] を選択します。
- 3 [イベント ソース] ドロップ ダウン リストで [ZTopTask] を選択し、[OK] をクリックします。

[イベント ビューア] ウィンドウの右側のパネルに、CM Configuration Server 処理の結果発生したメッセージのみが表示されます。ZTopTask が [ソース] カラムのすべての行にリストされていることを確認して、これを確かめます。

イベント ビューアの CM Configuration Server メッセージ

以下では、CM Configuration Server の処理に関連する 5 種類のイベント ビューア メッセージについて説明します。

- スタートアップ メッセージ

```
CM-CS:CM Configuration Server HAS STARTED
```

Windows 用 CM Configuration Server は、**HP OVCM Configuration Server** プログラムを実行して起動処理を開始しました。

- エラー メッセージ 1

```
START CM-CS:CM Configuration Server CONTROL DISPATCHER FAILED
```

Windows 用 CM Configuration Server は、サービスの初期化に失敗しました。スタートアップ処理が停止しました。

- エラー メッセージ 2

```
CM-CS:CM Configuration Server CONTROL HANDLER REGISTRATION  
FAILED IN SERVICE MAIN
```

初期化の第 2 ステージで、Windows サービス コントローラはレジストリ キーの更新に失敗しました。スタートアップ処理が停止しました。

- エラー メッセージ 2

SET CM-CS:CM Configuration Server FAILED IN REPORT STATUS

Windows 用 **CM Configuration Server** の状態を **CM Configuration Server** サービスにレポートする試行が行われました。ただし、**CM Configuration Server** サービスは状態レポートを受信しませんでした。

CM Configuration Server サービスが実行中である可能性も、スタートアップ サービスが停止している可能性もあります。**CM Configuration Server** は実際の状態を認識できません。

- シャットダウン メッセージ

CM-CS:CM Configuration Server STOPPED BY STOP REQUEST OR SHUT-DOWN REQUEST

CM Configuration Server はシャットダウンしました。

4 Windows 用の CM Portal インストール

この章は以下を目的としています。

- Windows 環境での CM Portal システム要件を理解する。
- Windows 環境に CM Portal をインストールする。
- CM Portal にログオンする。

▶ CM Portal のインストール ファイルは、**HP Configuration Management** リリース メディアからダウンロードして、ディレクトリからインストールを開始できます。

ただし、**HP** では、**HP Configuration Management** リリース メディアからインストールを開始することをお勧めします。これは、インストールプログラムは **CM Portal** のインストールを完了するために、メディア内のその他のディレクトリにアクセスする必要があるためです。

システム要件

72 ページの表 20 は、CM Portal のインストールおよび操作に関するシステム要件をリストしています。Windows システムに CM Portal をインストールする前に、これらの要件を厳密に確認することをお勧めします。


 これらの推奨事項は、オペレーティング システムの一般的な最小限の推定値を表します。

表 20 CM Portal 用システム推奨

コンポーネント	推奨
メモリ	1 GB
仮想メモリ	2 GB
プロセッサの速度	800 MHz

インストール前のチェックリスト

インストールを開始する前に、以下の項目を必ず確認してください。

- 本製品のインストールに関連するライセンス ファイルの位置を確認してください。
不明点がありましたら、HP テクニカル サポートにお問い合わせください。
- HP Configuration Management メディアで、以下のものがどこにあるか確認してください（CM Portal の完全インストールで使用します）。
 - CM Infrastructure メディア（CM Portal から追加の CM Portal Zone および CM Proxy Server をインストールする）
 - CM Agent メディア（CM Portal から CM Agent をインストールする）
- 製品付属の README ファイル をよく読んでください。

インストール前のヒント

- インストール時にライセンス ファイルに簡単にアクセスできるようにします。
- 任意のウィンドウで **[キャンセル]** をクリックすると、インストールを終了できます。**[キャンセル]** を誤ってクリックしても、確認プロンプトが表示されるため、インストールプログラムへ戻ることができます。
- 適宜 **[戻る]** をクリックして、前のウィンドウに戻ることができます。入力済みの情報はすべて変更されずに残ります。
- 大部分のウィンドウには、関連するエラー メッセージがあります。設定が不適切である場合、エラー メッセージが表示されます。**[OK]** をクリックして適切な情報を入力します。
- このインストールプログラムは、デフォルト値があればデフォルト値を表示します。すべてのデフォルト値を受け入れるようお勧めしますが、会社の環境に合わせてパラメータを指定して上書きすることもできます。

インストール前の注意

本リリースは、1 つの環境内で複数の **CM Portal** サイトをサポートするために、**ゾーン** アーキテクチャと機能を使用します。マスター **CM Portal** サイトから管理される各 **CM Portal** サイトには、バージョン **5.00** 以降の **CM Portal** がインストールされている必要があります。

サーバーの注意

- **CM Portal** のインストールには管理者権限が必要です。

CM Agent に関する注意およびアクセス要件

- **Web** ブラウザをサポートしている任意のプラットフォーム。
- マシンが **CM Portal** にアクセスするためには、**CM Portal** ホスト マシンと同じネットワークに接続し、**Microsoft Internet Explorer** バージョン **4.0** 以降または **Netscape Navigator** バージョン **4.0** 以降を、クッキーを有効にして動作させる必要があります。
- **Microsoft Internet Explorer** ブラウザのセキュリティは、「中」以下にしてください。

シングル ゾーンのディレクトリ サイズ

Portal ディレクトリには、デバイス、グループ、管理対象インフラストラクチャ、ジョブ ステータス、およびマウントされたサービス情報に加え、**CM Portal** 用のすべての設定情報およびエンタイトルメント情報が格納されています。

複数の **CM Portal** ゾーンをインストールし、任意の企業に対応できます。複数のゾーンの詳細については、『**CM Portal Guide**』を参照してください。

CM Portal および CM Messaging Server

本リリースの **CM Portal** は、REXX メソッド **ZTASKEND** および **CM Messaging Server** での作業に最適化されています。HP では、**CM Configuration Server** と **CM Portal** の間のデータ転送パフォーマンスを向上するために、最新のバージョンの **ZTASKEND** および **CM Messaging Server** と共に **CM Portal** を使用することをお勧めします。

CM Configuration Server のインストールと更新については、『**CM Messaging Server Guid**』および製品の『リリース ノート』を参照してください。

CM Portal をインストールする

このセクションでは、**CM Portal** のインストール手順について説明します。このインストールを開始する前に、必ず以下を確認してください。

- 72 ページの「インストール前のチェックリスト」
- 73 ページの「インストール前のヒント」
- 73 ページの「インストール前の注意」



本バージョンの **CM Portal** は、必ずクリーンな（空の）ディレクトリにインストールする必要があります。

詳細については、『**CM Portal Migration Guide**』を参照してください。

CM Portal をインストールするには



本セクションの以下の手順に従って、企業の **1** つ目の **CM Portal** ゾーンをインストールします。

追加の **CM Portal** ゾーンをインストールするには、『**CM Portal Guide**』を参照してください。

- 1 HP Configuration Management インストール メディアを光学ドライブに挿入します。
- 2 Windows プラットフォーム用の CM Portal インストール プログラムがインストールされているディレクトリに移動します。

システム ドライブ:¥Infrastructure¥extended_infrastructure
¥management_portal¥win32

- 3 setup.exe をダブルクリックします。

[HP OpenView CM Portal インストールへようこそ] ウィンドウからインストールが開始します。

- 4 [次へ] をクリックします。

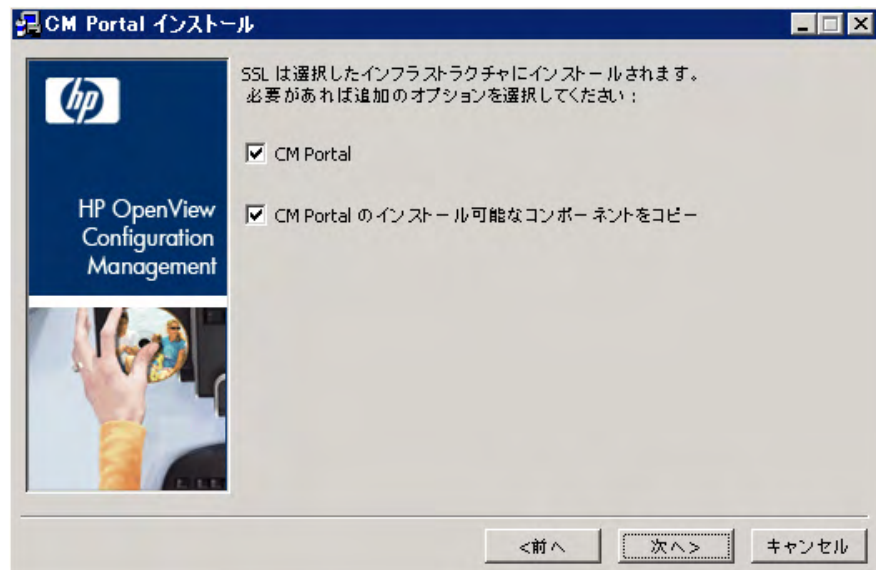
[HP OpenView CM Portal Installation Software エンドユーザー ライセンス契約] ウィンドウが表示されます。

- 5 [同意する] をクリックします。



[同意する] を選択しないと、CM Portal インストール プログラムは終了します。

[HP OpenView CM Portal Installation Files Location (HP OpenView CM Portal インストール ファイルのロケーション)] ウィンドウが表示されます。



このウィンドウにおいて：

- 表示されているデフォルトのインストール ディレクトリを受け入れる (推奨) か、または
- **[ブラウズ]** をクリックして、**CM Portal** ファイル用に別のリポジトリへ移動します。



CM Portal は共有の **CM Integration Server** パス、サービス、ポートにインストールされなくなりました。

- 6 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Portal Installation License File (HP OpenView CM Portal インストール ライセンス ファイル)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウにおいて：

- ライセンス ファイルのロケーションと名前を指定するか、
- **[ブラウズ]** をクリックして、ロケーションに移動します。

- 7 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Portal Installation Enable Network Discovery (HP OpenView CM Portal インストールが可能なネットワーク ディレクトリ)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウにおいて：

- **[はい]** をクリックすると、ネットワーク探索が有効になります。 (推奨)

CM Portal は、**Windows** 環境内で **Configuration Management** が管理できるすべてのデバイスを自動的に検索できるようになります。

- **[いいえ]** をクリックすると、ネットワーク探索は無効になります。

CM Portal をテスト中であり、自動探索機能が不要である場合に選択します。

- 8 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Portal Installation Network Discovery Interval (HP OpenView CM Portal インストール ネットワーク探索間隔)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでは、**Network-Discovery** ジョブの実行を待機する時間 (間隔) を時間単位で指定します。

- デフォルトの探索間隔である **24** (時間) を受け入れるか、
- 別の時間間隔を指定します (適切な値は **1 ~ 24** です) 。

9 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Portal Installation Discovery Start Delay (HP OpenView CM Portal インストール探索開始の遅延)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでは、**CM Portal** が起動してからネットワーク探索を開始するまでの時間を指定します (分単位)。

- デフォルトの開始遅延時間である **15** (分) を受け入れるか、
- 別の遅延間隔を指定します (適切な値は **0 ~ 1440** です。)

この遅延時間は、**CM Portal** が起動するたびに適用されます。

10 **[次へ]** をクリックします。

1 つ目の [HP OpenView CM Portal Installation Zone Information (HP OpenView CM Portal インストール ゾーン情報)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでは、**CM Portal** の現在のインスタンスを表す **CM Portal** ゾーン名を指定します。

- 企業内の **CM Portal** の各インスタンスには、一意のゾーン名が必要です。一般的には、最初のゾーン名は管理対象のインフラストラクチャを特定し、その後のインストールは下位ゾーンの名前を指定します。
- 以下のガイドラインに従ってください。
 - 最高 **64** 文字まで指定可能。
 - 文字 (**a~z** および **A~Z**)、数字 (**0~9**) およびスペース文字のみ使用可能。
 - アンダースコア、カンマ、ピリオドのような特殊文字は使用しない。

11 **[次へ]** をクリックします。

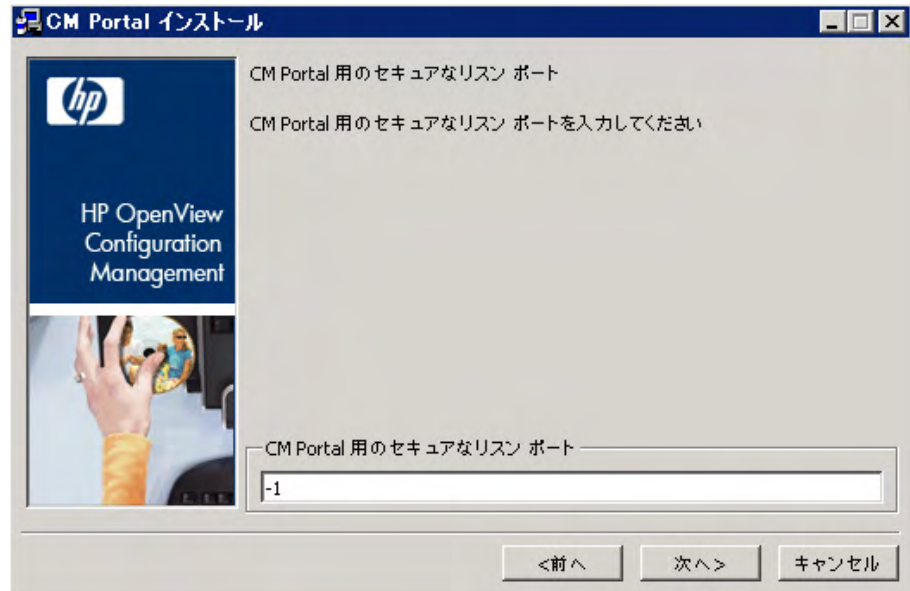
2 つ目の [HP OpenView CM Portal Installation Zone Information (HP OpenView CM Portal インストール ゾーン情報)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでは、**CM Portal** の現在のインスタンスを表す **CM Portal** ゾーンの簡略名を指定します。

- この値はオプションであり、省略した場合、前の手順で設定したゾーン名がデフォルトで使用されます。
- 簡略名は、**CM Portal** のユーザー インターフェイスで表示されるゾーン名です。

12 [次へ] をクリックします。

[HP OpenView CM Portal Installation Secure Listening Port (HP OpenView CM Portal インストール セキュア リスン ポート)] ウィンドウが表示されます。



このウィンドウにおいて：

- デフォルト値 **-1** を受け入れて、安全でないポート(デフォルトは **3471**)で CM Portal を起動させるか (推奨) 、
- CM Portal 用に **SSL** で保護されたリスン ポート番号を指定します。

13 [次へ] をクリックします。

[HP OpenView CM Portal Installation Listening Port for OpenLDAP (OpenLDAP 用 HP OpenView CM Portal インストール リスン ポート)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウにおいて：

- デフォルトのリスン ポートである **3471** を受け入れて、CM Portal ゾーンを OpenLDAP データベースと通信させるか (推奨) 、
- 別のリスン ポートを指定します

14 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Portal Installation Listening Port for OpenLDAP Backup (OpenLDAP バックアップ用 HP OpenView CM Portal インストール リスポート)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウにおいて：

- デフォルトのリスポートである **3475** を受け入れて **CM Portal** ゾーンをバックアップの **OpenLDAP** データベースと通信させるか (推奨)、
- 別のリスポートを指定します

15 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Portal Installation Enable Backup (HP OpenView CM Portal インストールバックアップ有効化)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウにおいて：

- デフォルト (**[はい]**) を受け入れて、バックアップ ディレクトリ タスクを有効にするか (推奨)、
- **[いいえ]** を選択して、この機能を無効にします。



このオプションを設定すると、**CM Portal** バックアップ ディレクトリ タスクおよびそのタスクで必要となるリソースにより、**OpenLDAP** データベースのバックアップが作成されます。バックアップ ディレクトリ タスクは、**OpenLDAP** バックアップのリスポートを使用します (デフォルトは **3475**)。

環境内で代替データベース複製やバックアップ プロセスを使用している場合を除き、**[いいえ]** は選択しないようお勧めします。

16 **[次へ]** をクリックします。

[HP OpenView CM Portal Installation Summary (HP OpenView CM Portal インストールの概要)] ウィンドウが表示されます。**CM Portal** のインストール過程で指定したすべての情報が表示されます。この画面は、指定した設定を確認および変更する最後の機会です。

- エラーを見つけた場合や、エントリを変更したい場合には、**[戻る]** をクリックして適切なウィンドウに戻り、必要な変更を行います。

他のウィンドウで入力した情報は、変更の影響を受けません。変更後、**[次へ]** を繰り返しクリックし、[入力の要約] ウィンドウまで戻ります。

- 17 **[インストール]** をクリックしてインストールを開始します。

Configuration Management インフラストラクチャ コンポーネントのリモート インストールに使用されるモジュールをコピーするプロンプトが表示されます。

- 18 **[はい]** をクリックします。

[HP OpenView CM Portal Installation Remotely Installable Components Location (HP OpenView CM Portal インストールのリモートでインストール可能なコンポーネントのロケーション)] ウィンドウが表示されます。

- 必要に応じて、**[ブラウズ]** をクリックして、**HP Configuration Management** メディアの Infrastructure ディレクトリに移動します。

- 19 **[次へ]** をクリックします。

モジュールが **CM Portal** の %media ディレクトリにコピーされます。

リモート インストールに使用できる **HP OpenView CM** クライアント モジュールをコピーするプロンプトが表示されます

- 20 **[はい]** をクリックします。

[HP OpenView CM Portal Installation Client Modules (HP OpenView CM Portal クライアントモジュールのインストール)] ウィンドウが表示されます。

- 必要に応じて、**[ブラウズ]** をクリックして、**HP Configuration Management** メディアの Agents ディレクトリに移動します。

CM Agent モジュールが、**CM Portal** の %media ディレクトリにコピーされます。

- 21 インストールが完了したら **[完了]** をクリックします。

CM Portal のインストールが成功すると、次のように確認できます。

- **CM Portal** サービス (httpd-managementportal) が自動的に起動します (サービスは「**HP OVCM Portal**」としてリストされています)。
- [CM Portal へようこそ] ウィンドウが自動的に表示されます。



これらのタスクを手動で行う場合の詳細については、81 ページの「**CM Portal** を起動/停止する」および 81 ページの「**CM Portal** へのアクセスとログオン」を参照してください。

CM Portal を起動/停止する

CM Portal を起動するには

- 1 [Windows サービス] セクションに移動します。
- 2 [サービス] パネルにおいて、[HP OVCM Portal] を右クリックし、[スタート] を選択します。

CM Portal を起動するには

- 1 [Windows サービス] セクションに移動します。
- 2 [サービス] パネルにおいて、[HP OVCM Portal] を右クリックし、[停止] を選択します。

CM Portal へのアクセスとログオン

CM Portal へアクセスし、ログオンするには

- 1 Web ブラウザを開き、アクセス バーに次のように入力します。
http://<IP アドレス> または <ホスト名>:3471.
 - <IP アドレス> および <ホスト名> の値は、CM Portal のホストコンピュータの値と同じです。
- 2 **Enter** キーを押します。
[CM Portal Login (CM Portal ログイン)] ページが開きます。
- 3 [ユーザー名] フィールドと [パスワード] フィールドに、以下のいずれかの組み合わせを指定します。
 - **Admin**
この ID を使用すると、CM Portal への完全なアクセス権限を持つユーザーとしてログオンすることができます。この ID は変更しないようお願いします。
パスワードは **secret** です。
 - **Guest**
この ID を使用すると、タスクへのアクセス権限を持たない非認証ユーザーとしてログオンすることができます。
パスワードは必要ありません。

— **Operator**

この **ID** を使用すると、基本的な操作へのアクセス権限を持つユーザーとしてログオンすることができます。

パスワードは必要ありません。

— **Test**

この **ID** を使用すると、エンタイトルメント オプションをテストすることができます。

パスワードは必要ありません。

4 **[ログイン]** をクリックするか、キーボードで **Enter** キーを押します。

ログオン ユーザーの **ID** がバナー領域に表示され、ワークスペースには最上位にあるインフラストラクチャのアイコンが表示されます。

CM Portal の詳細については、『**CM Portal Guide**』を参照してください。

まとめ

- **CM Configuration Server** および **CM Portal** は、**Windows** 環境に簡単にインストールし、組み込むことができます。
- **CM Configuration Server** および **CM Portal** は起動および停止できます。
- **CM Portal** には、様々なレベルの権限でアクセスすることができます。

5 Windows 用の CM Enterprise Manager インストール

この章は以下を目的としています。

- CM Enterprise Manager のシステム要件を理解する。
- CM Enterprise Manager のインストール方法を理解する。
- CM Enterprise Manager の削除方法を理解する。

システム要件

CM Enterprise Manager をインストールする前に、以下の CM 製品を企業内にインストールしておく必要があります。これらの製品が既にインストールされている場合、CM Enterprise Manager によって使用される製品を特定する必要があります。

- CM Configuration Server
- CM Reporting Server
- CM Portal

▶ CM Enterprise Manager を使用するために CM Reporting Server は必要ありません。ただし、企業内で CM Reporting Server が特定またはインストールされていない場合、CM Enterprise Manager から CM Reporting Server の機能にアクセスすることはできません。

CM Reporting Server のインストールおよび設定については、『CM Reporting Server Guide』を参照してください。

CM Enterprise Manager のインストール先デバイスには、次のいずれかのブラウザが必要です。

- Microsoft Internet Explorer バージョン 6.x 以降（パッチ適用済み）
- Mozilla Firefox バージョン 2
- Adobe Flash Player バージョン 9.0.47.0 以降（ダウンロード：www.adobe.com/go/getflashplayer）

Windows Terminal Server として機能するように設定されているサーバーでは、CM Enterprise Manager のインストールおよび実行はサポートされません。

プラットフォームのサポート

本リリースでサポートされているプラットフォームについての情報は、付属のリリースノートを参照してください。

インストール タスク

CM Enterprise Manager の機能をすべて使用するためには、次のタスクを完了する必要があります。CM Configuration Server、CM Portal、および CM Reporting Server 用の IP アドレス、ホスト名、ポートを確認しておいてください。

▶ ファイアウォールの内側に CM Enterprise Manager をインストールしており、ファイアウォールの外側から CM Enterprise Manager にアクセスする場合、ファイアウォールがポート **8080** でネットワーク接続の受信を許可していることを確認してください。許可されない場合、アクセスは拒否されます。

SSL (セキュア) アクセスが必要である場合、ポート **8443** でもネットワーク接続を受信できるようにファイアウォールを設定しておく必要があります。

CM Enterprise Manger をインストールし、CM Portal 設定を行うには

- 1 インストール メディアで、Enterprise Manager¥win32 ディレクトリに移動します。
- 2 インストール用実行可能ファイルをダブルクリックします。
インストールプロセスで、適切なディスク容量があるかなどの要件が確認されます。
- 3 プロンプトに従い、適切な回答を入力します。

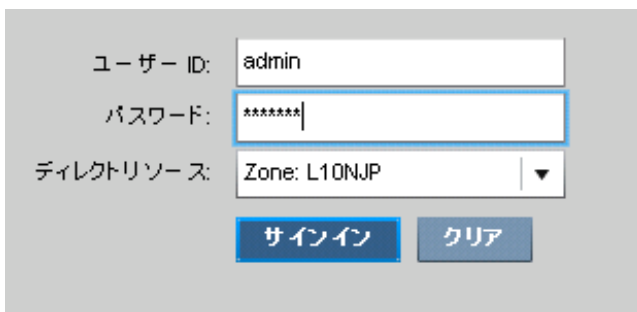
インストールが完了すると、CM Portal の設定を行うための画面が表示されます。

CM Portal ホスト *
例: cmportalserver.mycorp.com

ポート *
例: 3471 または 443

プロトコル ▼

- 4 適切な設定を入力または選択し、**[保存]** をクリックします。
設定が検証されます。
 - 検証が失敗に終わると、エラーが表示されます。
 - 検証が成功したら、**[閉じる]** をクリックして続行します。
開始ページに自動的にリダイレクトされます。



ユーザー ID: admin

パスワード: *****

ディレクトリソース: Zone: L10NJP

サインイン クリア

- 5 ユーザー名 **admin** とパスワード **secret** でサイン インします。

▶ これらはデフォルトです。
ディレクトリ ソースは、**CM Portal** のインストール時に作成したゾーンになっています。

- 6 **[サインイン]** をクリックします。

CM Enterprise Manager のメイン画面が表示され、正常にサイン インが完了しました。

CM Enterprise Manager を削除するには

- コントロール パネルの **[プログラムの追加と削除]** アプレットで、**HP CM Enterprise Manager** を選択します。
- 使用しているオペレーティング システムの標準削除手順を使用してください。

A UNIX カーネルのチューニング

CM Configuration Server は、メモリ、通信、プロセス間通信 (IPC) を活用します。このため、十分なリソースを使用できるように UNIX システムのカーネルを設定する必要があります。カーネル設定パラメータは UNIX オペレーティングシステムによって異なります。割り当てられる値は、予期される並列タスクの数やキャッシュ管理などの要因から、CM Configuration Server の設定に応じて異なります。

主要なカーネル変数

このセクションの表には、調整の必要があると予想される最重要パラメータが記載されています。

▶ これらの値は CM Configuration Server にも適用され、マシン上で機能するその他のアプリケーションの要件は考慮していません。

大部分の CM Configuration Server パラメータは、CM Configuration Server のインストール時に作成され、CM Configuration Server のホームディレクトリに格納されている edmpof ファイルで指定します。CM Configuration Server パラメータの詳細については、『CM Configuration Server Guide』を参照してください。

89 ページの表 21 では、セマフォ管理に関連するパラメータを説明します。

表 21 セマフォ管理用の UNIX カーネル設定

カーネル パラメータ	CM Configuration Server 関連パラメータ または推奨値	AIX、HP-UX、 および Linux	Solaris
セマフォの最大数 (システム全体)	TASKLIMIT * 3	semmni	seminfo_semmni
ユーザーがアクセスできるセマフォの最大数 (システム全体)	TASKLIMIT * 3	semmns	seminfo_semmns
セマフォ有効/無効	有効	sema = 1	なし

カーネル パラメータ	CM Configuration Server 関連パラメータ または推奨値	AIX、HP-UX、 および Linux	Solaris
セマフォ値の変更制限	なし	semaem = 16384	なし
フリー セマフォ リソース マップのサイズ	semnmi + 2	semmap	seminfo_semmap
セマフォあたりの undo の最大数	デフォルト	semmnu = 30	seminfo_semmnu
プロセスあたりのセマフォ undo の最大数	デフォルト	semume = 10	seminfo_semume
ID あたりのセマフォ undo の最大数	デフォルト	なし	seminfo_semmsl

90 ページの表 22 では、プロセス管理に関連するパラメータを説明します。

表 22 プロセス管理用の UNIX カーネル設定

カーネル パラメータ	CM Configuration Server 関連パラメータ または推奨値	AIX および HP-UX	Solaris
プロセス データ セグメン トの最大サイズ	なし	maxdsiz = 0x7b03a000	なし
ユーザーあたりのプロセス の最大値	TASKLIM + 20	maxuprc	なし
プロセスの最大値 (システム 全体)	TASKLIM + 20 + 4	nproc = maxuprc + 4	max_nprocs



管理ツールである **ulimit** を使用して、プロセス管理パラメータを設定します。

91 ページの表 23 では、共有メモリ関連のパラメータについて説明します。

表 23 共有メモリ用の UNIX カーネル設定

カーネルパラメータ	CM Configuration Server 関連パラメータまたは推奨値	AIX、HP-UX、および Linux	Solaris
共有メモリ有効/無効	有効	shmmem	なし
共有メモリセグメントの最大サイズ	edmprof ファイルの MGR_CACHE セクションで、予期されるキャッシュセグメントのサイズを許容するようにオペレーティングシステム依存パラメータを設定する必要があります。	shmmax recommended setting is: 0x40000000	shminfo_shmmax
システムのセグメントの最大数	セグメントサイズと組み合わせ、キャッシュ用のメモリを十分に確保する必要があります。	shmmni (デフォルトサイズの 200 が適切です。)	shminfo_shmmni
プロセスあたりのセグメントの最大数	セグメントサイズと組み合わせ、キャッシュ用のメモリを十分に確保する必要があります。	shmseg (デフォルトサイズの 120 が適切です。)	shminfo_shmseg

B 製品名の変更

以前に Radia を使用していて、まだ新しくブランド変更した HP の用語や製品名に慣れていない場合は、93 ページの表 24 で Radia ブランドからの名前の変更を確認してください。

表 24 製品名と用語の変更

新しい名前／用語	以前の名前／用語
CM Agent	Radia client
HP Configuration Administrator	Radia Administrator Workstation
HP Configuration Management	Radia
HP Configuration Management Admin Agent Explorer	Radia Client Explorer
HP Configuration Management Admin CSDB Editor	Radia System Explorer
HP Configuration Management Admin Packager	Radia Packager
HP Configuration Management Admin Packager	Radia Publisher
HP Configuration Management Admin Screen Painter	Radia Screen Painter
HP Configuration Management Application Manager	Radia Application Manager, RAM
HP Configuration Management Application Self-service Manager	Radia Software Manager, RSM
HP Configuration Management Application Usage Manager	Radia Usage Manager, RUM
HP Configuration Management Configuration Server	Radia Configuration Server, RCS
HP Configuration Management Distributed Configuration Server	Radia Distributed Configuration Server, Radia DCS, DMA

新しい名前／用語	以前の名前／用語
HP Configuration Management Configuration Server Database	Radia Configuration Server Database、Radia Database
HP Configuration Management Inventory Manager	Radia Inventory Manager、RIM
HP Configuration Management OS Manager	Radia OS Manager、ROMS
HP Configuration Management Patch Manager	Radia Patch Manager、RPM
Configuration Management スイートのスタンドアロン製品ではなくなりました。	Radia Inventory Manager Server
HP Configuration Management Portal	Radia Management Portal、RMP
HP Configuration Management Policy Server	Radia Policy Manager、Radia Policy Server、RPS
HP Configuration Management Multicast Server	Radia Multicast Server
HP Configuration Management Configuration Analyzer	Radia Configuration Analyzer
HP Configuration Management Extensions Windows Installer	Radia Extensions for Windows Installer、REfWI
HP Configuration Management Messaging Server	Radia Multicast Server、RMS
HP Configuration Management Reporting Server	Radia Reporting Server
HP Configuration Management Proxy Server	Radia Proxy Server
Configuration Management スイートのスタンドアロン製品ではなくなりました。	Radia Staging Server、Radia Adapter for HP OpenView、Radia Adapter for HP OpenView Operations
HP Configuration Management Solutions for Servers	Server Management

索引

A

administrator ツール。CM Administrator を参照
AMPs。CM Application Management Profiles を参照

B

bin ディレクトリ, 37, 55
Bourne シェル, 42

C

cdcase パラメータ, 41
CM Admin Agent Explorer, 22
CM Admin Configuration Server Database Editor, 22
CM Admin Packager, 22
CM Admin Publisher, 22
CM Admin Screen Painter, 22
CM Administrator, 21
CM Application Management Profiles, 30
CM Application Manager, 28
CM Application Self-service Manager, 28
CM Batch Publisher, 25
CM Configuration Analyzer, 26
CM Configuration Server, 20
 installation
 Windows
 サイレント, 59
 setup.cfg ファイル, 43, 57
 UNIX
 クリーン アップ, 52
 起動, 51
 停止, 51
 特定, 52
 UNIX プラットフォーム, 36
 Windows サービスとしてのクエリ, 67, 68
 Windows サービスとして起動, 67
 Windows サービスとして停止, 67

Windows プラットフォーム, 54
インストーラー

 Windows

 設定ファイル, 57
 インストーラー

 GUI

 UNIX, 45

 Windows, 60
 UNIX, 36

 GUI, 45

 サイレント, 44

 設定ファイル, 43
 Windows

 GUI, 60

 サイレント, 36, 54

 UNIX, 44

 Windows, 59
 メディア, 20

 ユーザー インターフェイス, 37

 ユーザー インターフェイス, 54

 設定ファイル

 UNIX, 43

 Windows, 57

 インストーラー : Windows, 54

 システム推奨

 UNIX, 38

 Windows, 56

 設定ファイル, 43, 57

 DOBACKUP 機能, 44

CM Distributed Configuration Server, 23

CM Enterprise Manager, 17, 23

 CM Portal 設定を行う, 87

 インストーラー, 87

 メディア, 23

 タスク, 33

 削除, 88

CM Enterprise Manager のアンインストール, 88
CM Enterprise Manager のインストール, 87
CM Enterprise Manager の削除, 88
CM Enterprise Manager 用の CM Portal 設定, 87
CM Extensions for Windows Installer, 22
CM Inventory Manager Agent, 28
CM Knowledge Base Manager, 26
CM Messaging Server, 27, 74
CM Multicast Server, 25
CM OS Manager, 29
CM Patch Manager, 29
CM Policy Server, 24
CM Portal, 25, 74
 Agent に関する注意
 Windows, 73
 Windows
 ログオン, 81
 ユーザー ID, 81
 起動, 81
 停止, 81
 Windows プラットフォーム, 54
 アクセス
 Windows, 81
 アクセス要件
 Windows, 73
 インストール
 Windows, 71, 74
 システム推奨
 Windows, 72
 メディア, 24
 および Messaging Server, 74
 タスク, 33
 設定, 87
CM Portal および CM Enterprise Manager のタスク, 33
CM Portal ディレクトリ
 トラブルシューティング, 74
CM Proxy Server, 26
CM Publishing Adapter。CM Batch Publisher を参照
CM Reporting Server, 26
CM Usage Manager, 31

CM Windows Terminal Server, 30
Config Analyzer。CM Configuration Analyzer を参照
Config Server。CM Configuration Server を参照
Configuration Analyzer。CM Configuration Analyzer
 を参照
Configuration Management
 サポート ドキュメント, 16
 製品メディア, 16

D

DB ディレクトリ, 37, 55
DCS。CM Distributed Configuration Server を参照
Distributed Manager Adapter。CM Distributed
 Configuration Server を参照
DMA。CM Distributed Configuration Server を参照

E

edmprof ファイル, 89
exe ディレクトリ, 37

G

GUI インストール, CM Configuration Server
 UNIX, 45
 Windows, 60

I

internet ディレクトリ, 37, 55
IPC, UNIX, 89

K

Knowledge Base。CM Knowledge Base Manager を
 参照
KnowledgeBase。CM Knowledge Base Manager を
 参照
KnowledgeBase Manager。CM Knowledge Base
 Manager を参照

L

LD_LIBRARY_PATH, 42
lib ディレクトリ, 37, 55

LIBPATH, 42

log ディレクトリ, 37, 55

M

mail ディレクトリ, 55

Management Portal。CM Portal を参照

Manager。CM Configuration Server を参照

Messaging Server。CM Messaging Server を参照

Messenger。CM Messaging Server を参照

P

PFS パッケージ, 41

pfs_mount, 41

Policy Manager。CM Policy Server を参照

R

readme ファイル, 18, 72

Reporting Server。CM Reporting Server を参照

rexx ディレクトリ, 37, 55

Rock Ridge 形式, 41

root, 39

S

shell ディレクトリ, 55

SHLIB_PATH, 42

SNMP, 39, 57

T

TASKLIM, 90

TASKLIMIT, 89

Terminal Server。CM Windows Terminal Server を参照

U

UNIX

インストール

CM Configuration Server

GUI, 45

サイレント, 44

インストール後の注意, CM Configuration Server, 50

システム推奨, 38

環境変数, 42

UNIX カーネル チューニング, 89

セマフォ パラメータ, 89

プロセス管理パラメータ, 90

共有メモリ パラメータ, 90

UNIX システム推奨

CM Configuration Server, 38

W

Windows

インストール

CM Configuration Server

GUI, 60

サイレント, 59

CM Portal, 74

システム推奨, 56

CM Portal インストール, 72

Windows Service, CM Configuration Server

クエリ, 67, 68

Windows Terminal Server。CM Windows Terminal Server を参照

Windows イベント ビューア。イベント ビューアを参照

Windows サービス, CM Configuration Server

起動, 67

停止, 67

Windows システム推奨

CM Configuration Server, 56

CM Portal インストール, 72

Z

zone.mk ファイル, 74

ZTopTask, 69

あ

アクセス, CM Portal

Windows, 81

い

- 移行ガイド, 18
 - イベント ビューア, 68
 - CM Configuration Server メッセージ, 69, 70
 - ZTopTask, 69
 - アクセス, 68
 - アプリケーション ログ, 69
 - イベント ソース, 69
 - フィルタ, 69
 - メッセージ, 68
 - インストール
 - CM Configuration Server
 - UNIX, 36
 - Windows, 54
 - CM Portal
 - Windows, 71
 - UNIX
 - CM Configuration Server, 36
 - Windows
 - CM Configuration Server, 54
 - CM Portal, 74
 - システム推奨
 - UNIX, 38
 - Windows, 56
 - CM Portal, 72
 - インストール メディア, 6, 16
 - CM Configuration Server, 20
 - CM Enterprise Manager, 23
 - CM Portal, 24
 - インストール後の注意, UNIX, 50
- ## か
- カーネル チューニング, 89
 - UNIX, 89
 - カーネル変数, 89
 - カスタマー サポート, 7
 - 環境変数, UNIX, 42
 - 管理者用ツール。CM Administrator を参照

き

- 起動, CM Configuration Server
 - UNIX, 51
 - Windows, 67
 - 起動, CM Portal
 - Windows, 81
- ## く
- クエリ, CM Configuration Server, Windows, 67, 68
 - クリーン アップ, CM Configuration Server, UNIX, 52

け

- 権利の制限, 2

こ

- ご注意
 - 著作権, 2
 - 保証, 2

さ

- サイレント インストール, CM Configuration Server
 - UNIX, 44
 - Windows, 59

し

- システム推奨
 - UNIX, 38
 - CM Configuration Server, 38
 - Windows, 56
 - CM Configuration Server, 56
 - CM Portal インストール, 72
- システム要件, 86

せ

- 設定ファイル
 - DOBACKUP 機能, 59
 - UNIX, CM Configuration Server インストール, 43
 - Windows, CM Configuration Server インストール, 57

た

タスク

CM Portal および CM Enterprise Manager, 33

ち

チューニング, カーネル, 89

著作権について, 2

て

停止, CM Configuration Server

UNIX, 51

Windows, 67

停止, CM Portal

Windows, 81

テクニカル サポート, 7

と

ドキュメント マップ, 14

ドキュメントの更新, 4

ドキュメントへの更新点, 4

特定, CM Configuration Server, UNIX, 52

ふ

プラットフォーム サポート, 86

プロセス間通信, 89

ほ

ポータブル ファイル システム, 41

保証, 2

め

メディア

CM Configuration Server のインストール, 20

CM Enterprise Manager インストール, 23

CM Portal インストール, 24

り

リリース ノート, 18

ろ

ログオン ページ, 88

ログオン, CM Portal

Windows, 81

